



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development

# AMEDデータブック

第1期 中長期計画期間  
(2015~2019年度)

# 目次

本集計で用いたデータ等について

1. 基本集計・・・・・・・・ 4
  1. 公募事業における応募件数、採択件数、採択率の推移
  2. 代表課題数、研究開発費、代表課題あたりの研究開発費の推移
  3. 新規採択の代表課題数、研究期間の推移
  4. 課題種類別の状況 1) 課題数、研究開発費の推移、2) 構成比率の推移
  5. 研究機関の分類別の配分状況
    - 1) 5年計、2) 代表・分担・再委託の別 機関数、構成比率の推移、3) 研究開発費の推移
2. 研究代表者に関する集計・・・・・・・・ 14
  1. 研究代表者数 男女計、男女別、女性比率の推移
  2. 研究代表者 平均年齢（男女別）の推移
  3. 研究代表者 年齢階級別の人数（男性、女性）
    - 1) 5年計、2) 推移、3) 構成比率の推移
  4. 年齢階級別 年度別の状況（男性、女性）

- 3. 代表課題、研究開発費に関する集計…………… 21
  - 1. 第1期プロジェクト別 代表課題数、研究開発費 1) 5年計、2) 推移、3) 構成比率の推移
  - 2. 対象疾患別 代表課題数、研究開発費
    - 1) 推移、2) 構成比率の推移、3) 主な対象疾患（10疾患）構成比率の推移
  - 3. 研究の性格
  - 4. 承認上の分類 1) 全体、2) 医薬品・医療機器等の開発を目指す研究
  - 5. 開発段階別 医薬品・医療機器等の開発を目指す研究
  
- 4. AMS搭載情報を用いた分析例…………… 32
  - 1. 研究支援の全体状況
    - 1. 研究の性格×対象疾患 クロス集計 1) 代表課題数、2) 研究開発費
    - 2. 研究の性格×プロジェクト クロス集計 1) 代表課題数、2) 研究開発費
  - 2. 関連するすべての疾患名を含めた場合の集計（延べ数）
    - 1. ICD10疾病分類別 5年計 1) 代表課題数（延べ数）、2) 研究開発費（延べ数）
    - 2. ICD10疾病分類別 推移 1) 代表課題数（延べ数）、2) 研究開発費（延べ数）
  
- 5. 用語集…………… 44

## 本集計で用いたデータ等について

AMEDでは、支援している研究開発課題を網羅的に把握・管理し、効率的なマネジメントを行うため、業務用のデータベース「AMED Management System (AMS)」を運用しており、本集計では、基本的にAMSに搭載されたデータ群を用いて集計しています（ただし1-1を除く）。AMSは基本的に支援先との契約時の情報にもとづいてデータを搭載・蓄積しています。

「1.基本集計」では、課題数（代表、分担、再委託）、研究開発費、研究期間、研究機関の分類により集計しています。

本集計では、「代表課題数」は、採択課題数を示します。また、各代表研究者のもとで他の研究機関などが研究の一部を分担あるいは再委託の方式で担う場合にはそれぞれ「課題数」として計上しています。代表課題数や課題数の集計は年度単位で行っていますので、複数年度に渡って継続実施されている場合は実施年度ごとに計上されます。

研究開発費は、委託事業または補助事業における契約金額（間接経費等を含む年度末の最終契約額）です。代表課題の研究開発費は、分担や再委託を含めた当該年度の研究開発費の総額となっています。

「2.研究代表者に関する集計」では、e-Rad（府省共通研究開発管理システム）に登録された研究代表者のデータを参照して集計しています。

「3.代表課題・研究開発費に関する集計」では、AMEDの研究開発支援の全体状況を俯瞰的に把握するための研究開発タグのうち「研究の性格」、「研究開発段階」、「研究開発対象の承認上の分類」、「対象疾患」をもとに集計しています。これらの研究開発タグは、それぞれに予め設定された分類項目から、採択課題を管理する事業担当者が1代表課題ごとに1分類付与しています。これらの研究開発タグは俯瞰的な集計を目的にして設定されていることから、研究内容が複数にまたがる場合であっても1分類しか付与されないこととしています。

「4.AMS搭載情報を用いた分析例」では、AMS搭載情報をクロス集計した数値をまとめています。

研究開発タグの種類に応じてタグ情報付与に一定の期間を要したり、研究開始が年度末に近い課題の情報更新が翌年度になって行われるといったAMSのデータ更新の特性を踏まえ、本集計では2019年度までの第1期5年間の確定データとして、次の集計について、それぞれに示す日付のAMSに搭載されたデータ群を用いています。

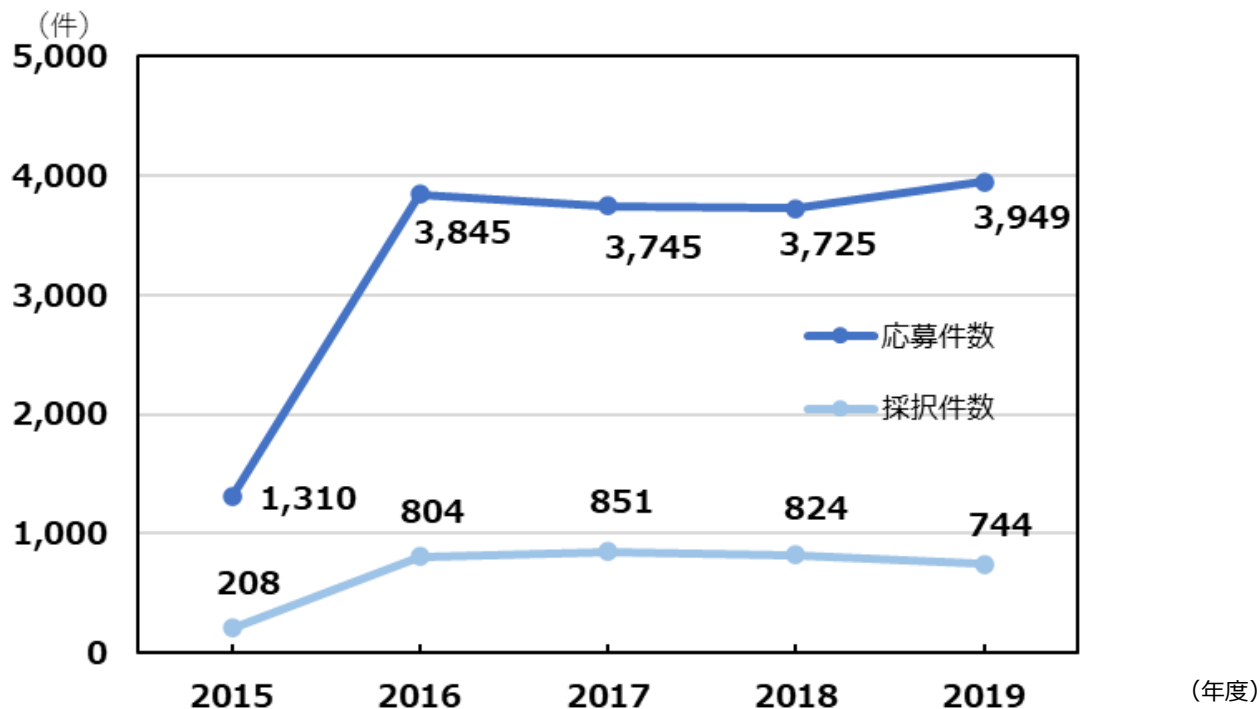
1基本集計、3代表課題、研究開発費に関する集計：2021年1月27日

2研究代表者に関する集計：2020年9月23日

4 AMS搭載情報を用いた分析例：2021年2月17日

# 1. 基本集計

## 1.1. 公募事業における応募件数、採択件数、採択率の推移（第1期、2015~19年度）



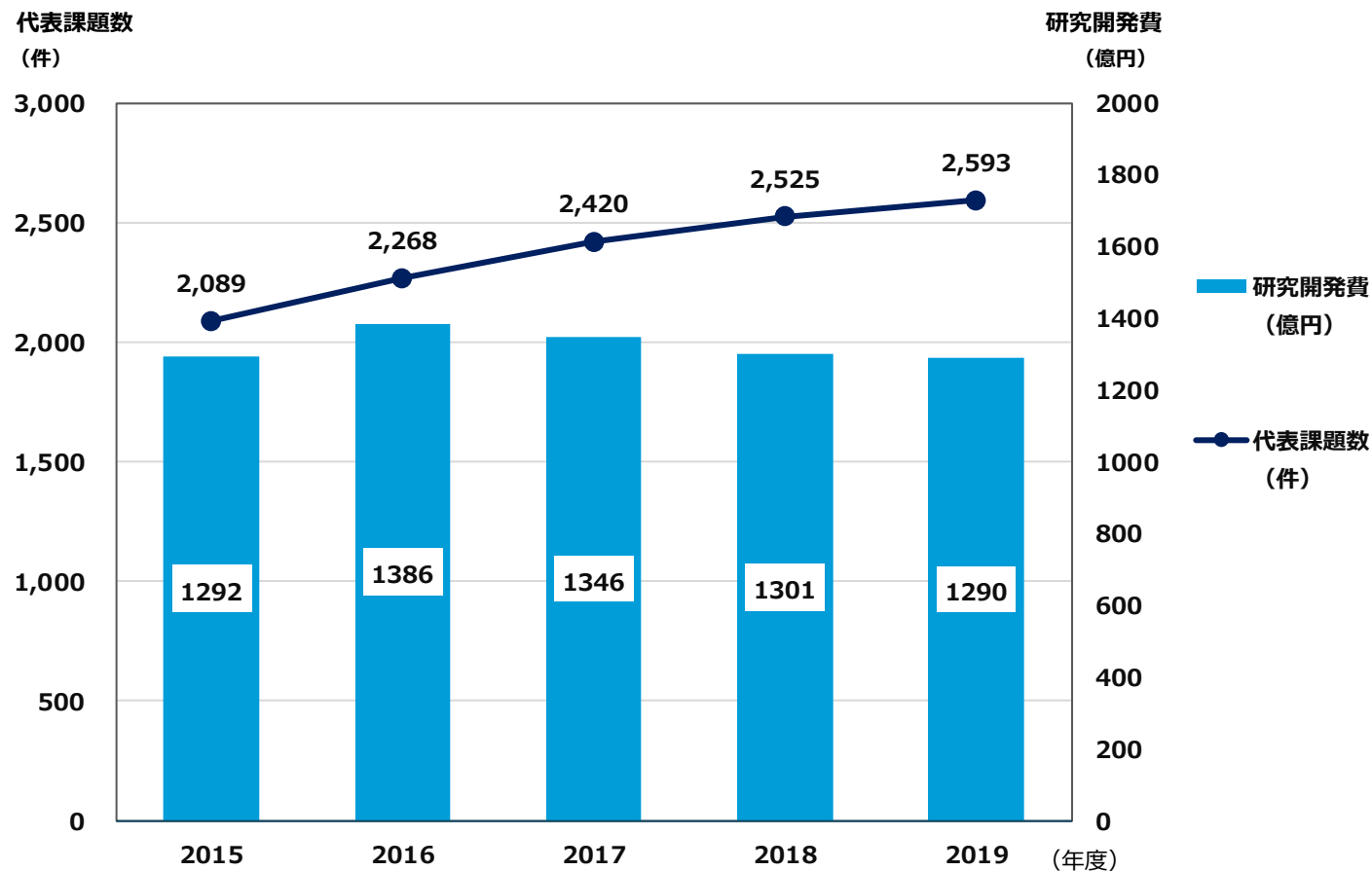
年度	2015	2016	2017	2018	2019
応募件数	1310件	3845件	3745件	3725件	3949件
採択件数	208件	804件	851件	824件	744件
採択率	15.9%	20.9%	22.7%	22.2%	18.8%

公開資料等により公募に対する応募件数が確認できる事業について年度毎に集計。

医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）、AMED発足前に関係各省等により公募・採択が行われた上でAMEDに移管された2015年度公募事業を除く。

採択率は各年度の全応募件数に対する全採択件数の割合を算出。

## 1.2. 代表課題数、研究開発費、代表課題あたり研究開発費の推移（第1期、2015~19年度）



年度	2015	2016	2017	2018	2019	合計 (平均)
代表課題数 (件)	2,089 件	2,268 件	2,420 件	2,525 件	2,593 件	11,895 件
研究開発費 (億円)	1292 億円	1386 億円	1346 億円	1301 億円	1290 億円	6615 億円
代表課題あたりの研究開発費 (万円)	6185 万円	6111 万円	5563 万円	5152 万円	4974 万円	5561 万円

代表課題数、研究開発費は合計値、代表課題あたりの研究開発費は平均値。

AMSのデータ（2021年1月27日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

代表課題数、研究開発費は、新規ならびに継続分を含む、当該年度の合計。

### 1.3. 新規採択の代表課題数、研究期間の推移（第1期、2015~19年度）

#### 研究期間別 新規採択の代表課題数

(件、年度)

研究期間	2016	2017	2018	2019	4年計	比率 (%)
1年未満	99	104	98	70	371	10.7%
1年以上 2年未満	170	104	126	127	527	15.2%
2年以上 3年未満	192	316	239	205	952	27.4%
3年以上 4年未満	220	263	301	263	1,047	30.1%
4年以上 5年未満	59	83	18	74	234	6.7%
5年以上 6年未満	132	127	32	38	329	9.5%
6年以上	1	12	2	0	15	0.4%
合計	873	1,009	816	777	3,475	100.0%
研究期間（平均）	2年9か月	2年11か月	2年6か月	2年8か月	2年9か月	-

研究期間（4年間の中央値）：2年11か月

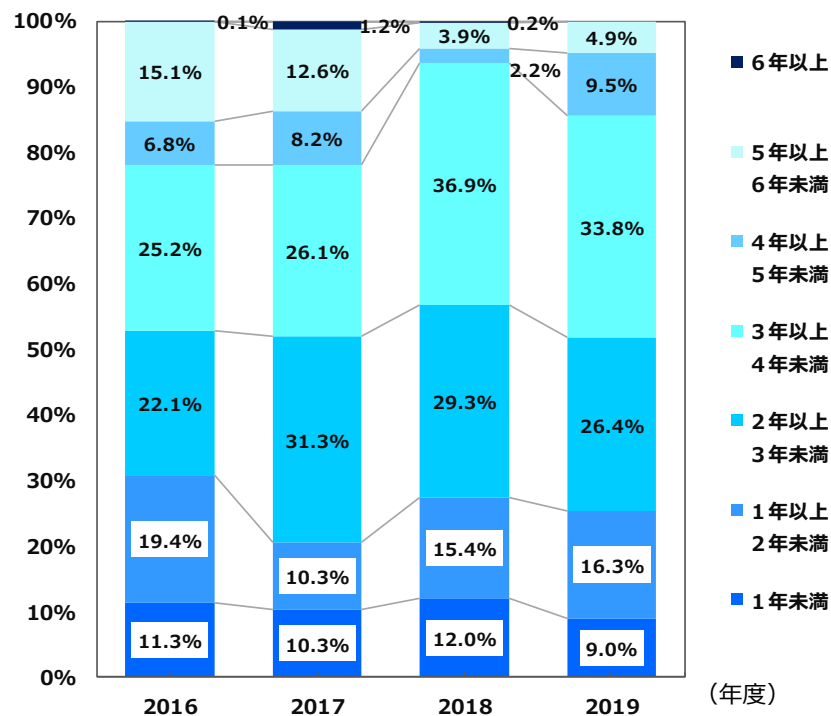
研究開始年月日に基づき当該年度に新たに開始された研究代表課題について集計。

2015年度の開始課題については、AMED設立後に研究を開始した課題に加え、AMED設立前から研究が開始されAMEDに引き継がれた課題が含まれており、研究開始年月日に基づいて新規開始分を抽出することが困難なため2015年度分は集計から除いた。

構成比率は、各年度に開始された代表課題数の合計を100%として算出。

AMSのデータ（2021年1月27日現在）をもとに集計。  
ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

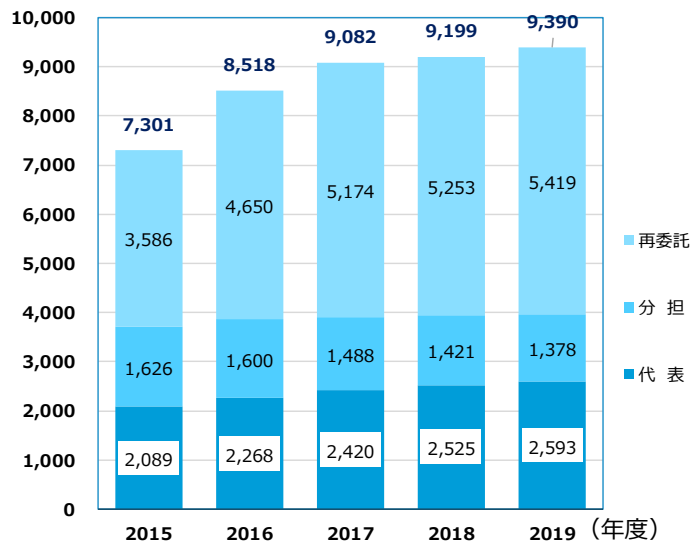
新規採択の代表課題数 構成比率 (%)



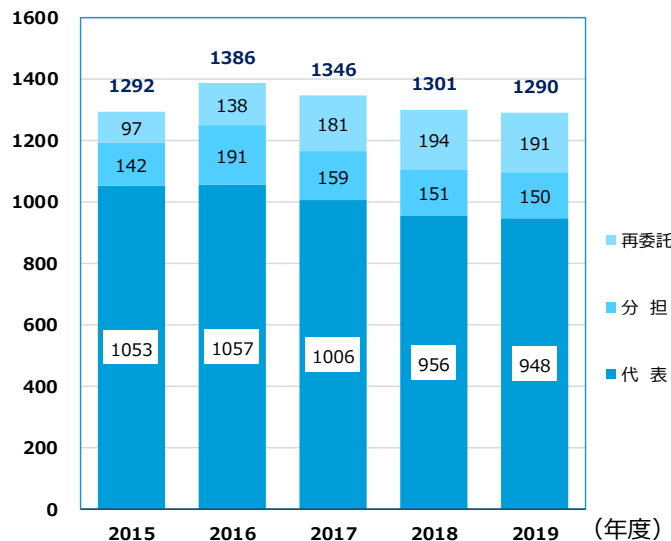


# 1.4. 課題種類別の状況（第1期、2015~19年度） 1) 課題数、研究開発費の推移

課題数（件） \* 青字は合計値



研究開発費（億円） \* 青字は合計値



## 課題種類についての説明

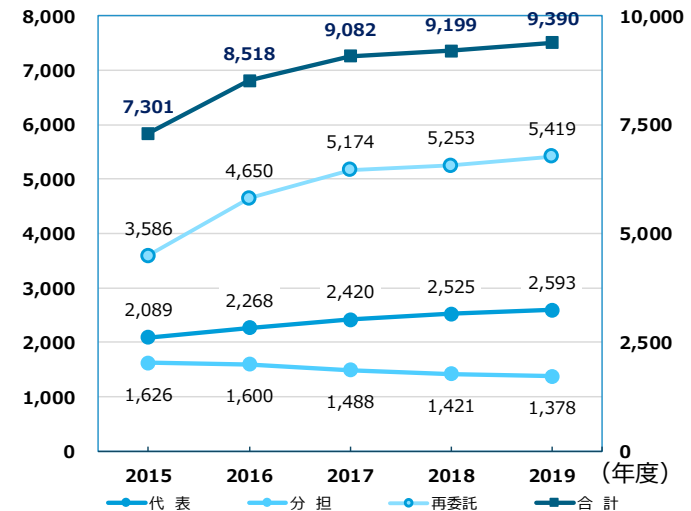
代表課題：AMEDが採択した研究開発課題。

分担課題：AMEDが採択した研究代表から分担されて実施される課題。

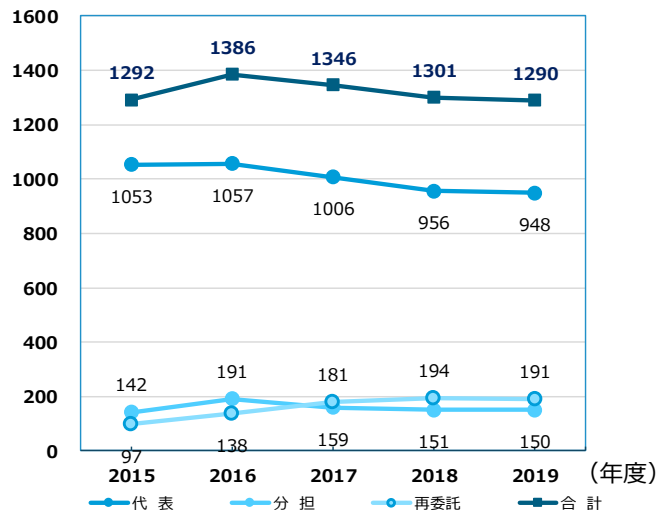
再委託課題：AMEDが採択した研究代表から委託されて実施される課題。

課題数、研究開発費は、新規ならびに継続分の当該年度の合計。

課題数（件） (合計件数)



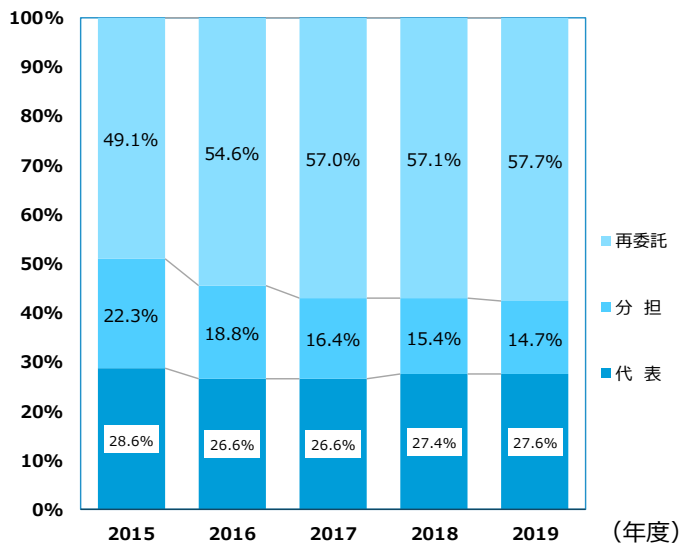
研究開発費（億円）



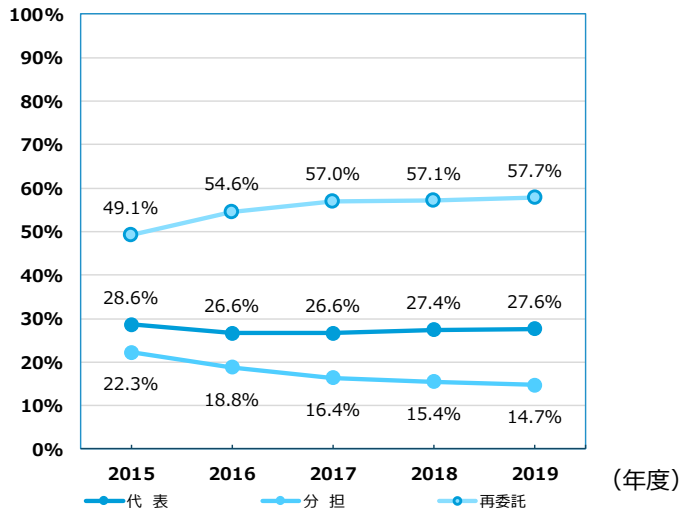
AMSのデータ（2021年1月27日現在）をもとに集計。  
ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

## 1.4. 課題種類別の状況（第1期、2015~19年度） 2）構成比率の推移

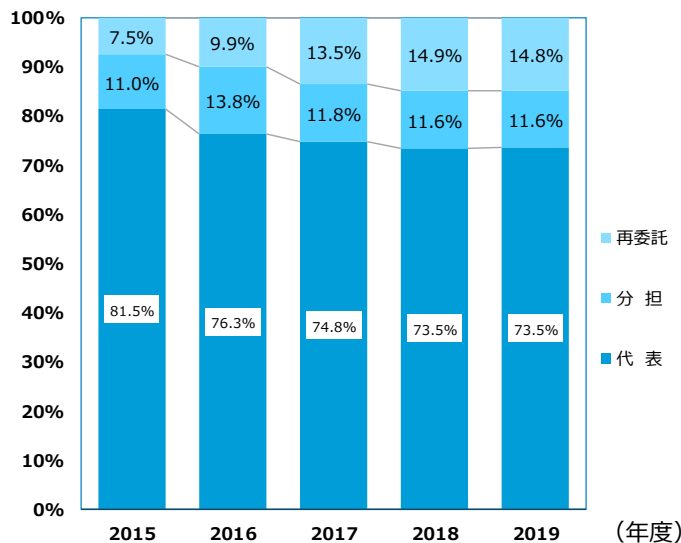
課題数 (%)



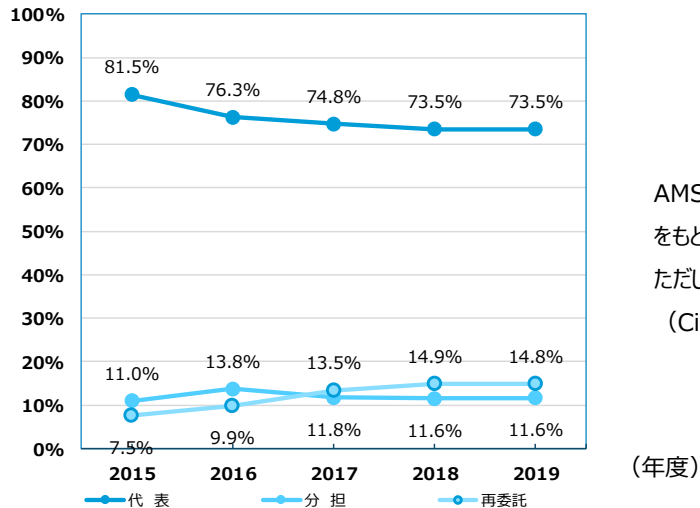
課題数 (%)



研究開発費 (%)



研究開発費 (%)



### 課題種類についての説明

代表課題：AMEDが採択した研究開発課題。

分担課題：AMEDが採択した研究代表から分担されて実施される課題。

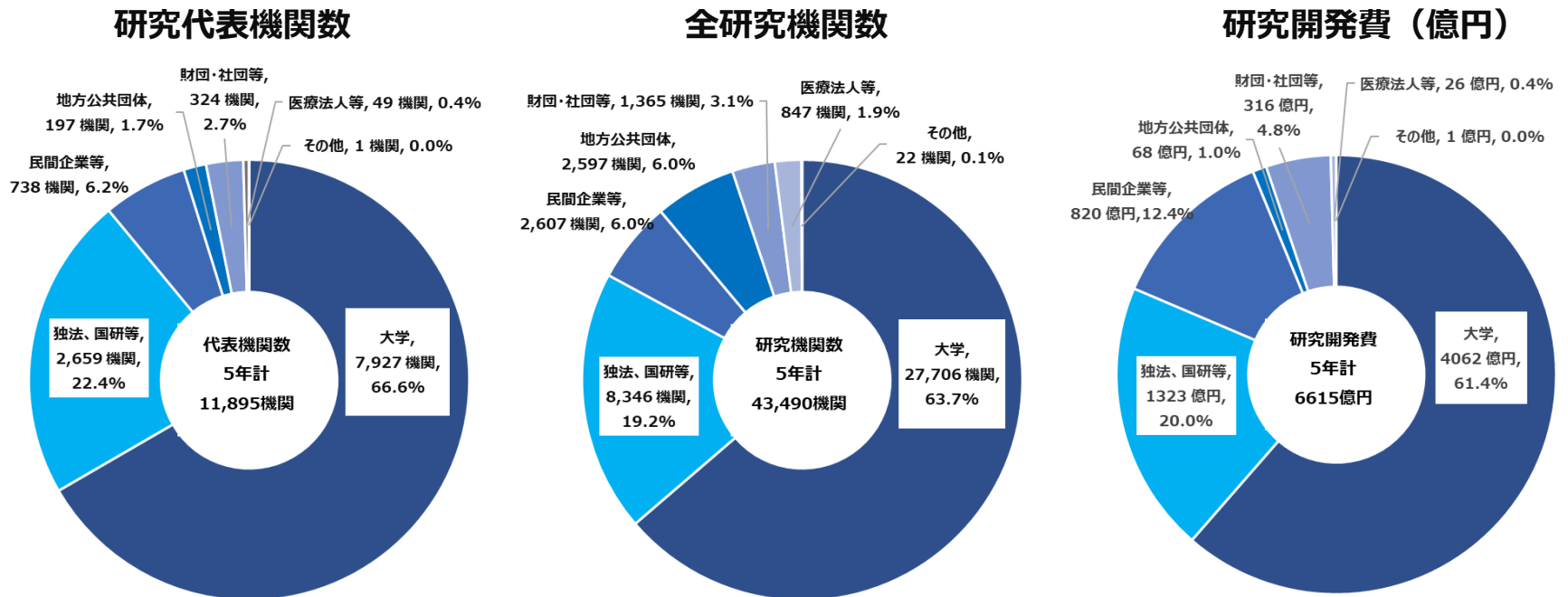
再委託課題：AMEDが採択した研究代表から委託されて実施される課題。

課題数、研究開発費は、新規ならびに継続分を含む当該年度の合計。構成比率は各年度の合計を100%として算出。

AMSのデータ（2021年1月27日現在）をもとに集計。

ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

## 1.5. 研究機関の分類別の配分状況（第1期、2015~19年度） 1) 5年計



研究代表機関（左）：AMEDが採択した研究開発課題を統括する機関。

全研究機関（中央）：代表、分担、再委託の課題を含めたAMEDが支援した研究開発課題に参加した機関。

機関数（代表機関数、全研究機関数）は、研究開発課題を実施した年度ごとの延べ数で集計。

研究開発費（右）：AMEDが採択した研究開発課題を実施するために各機関が受領した金額をもとに集計。

**研究機関の分類**（ ）はグラフでの表記。詳細は「本集計における研究機関の分類について」参照。

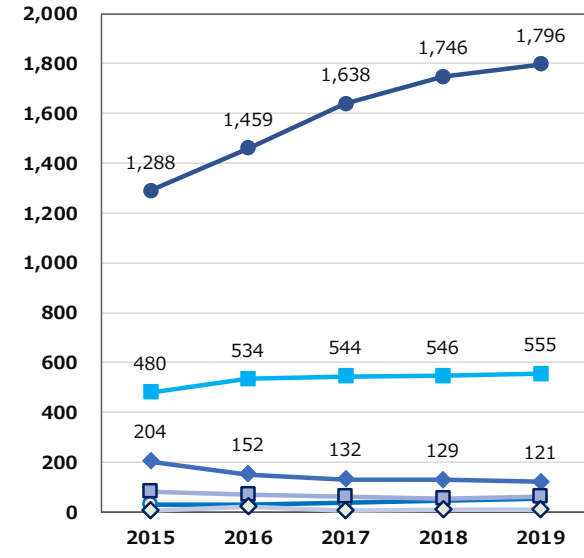
大学、独立行政法人・国立研究開発法人等（独法・国研等）、民間企業等、地方公共団体、財団法人・社団法人等（財団・社団等）、医療法人・社会福祉法人等（医療法人等）、その他

AMSのデータ（2021年1月27日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

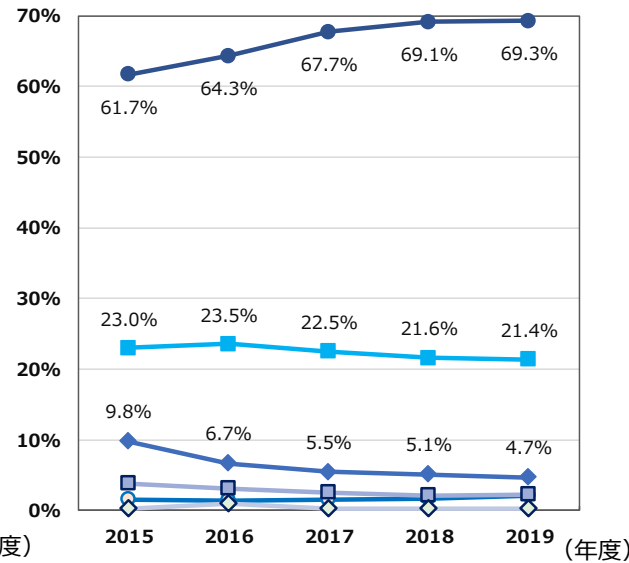
## 1.5. 研究機関の分類別の配分状況（第1期、2015~19年度） 2) 代表・分担・再委託の別 機関数、構成比率の推移

### 研究代表機関

機関数（代表）



構成比率



**研究代表機関（上）**は、AMEDが採択した研究開発課題を統括する機関。

**分担・再委託機関（下）**は、AMEDが採択した研究課題を分担あるいは代表機関からの再委託により実施する機関。

構成比率は各年度の研究開発に参加した機関数の合計を100%として算出。

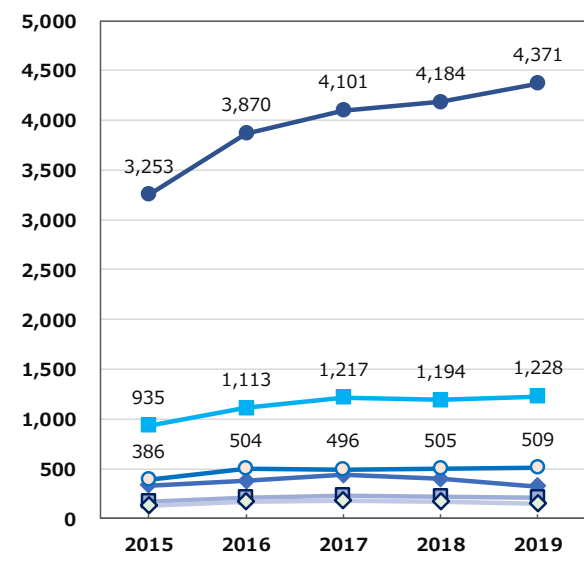
AMSのデータ（2021年1月27日現在）をもとに集計。

ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

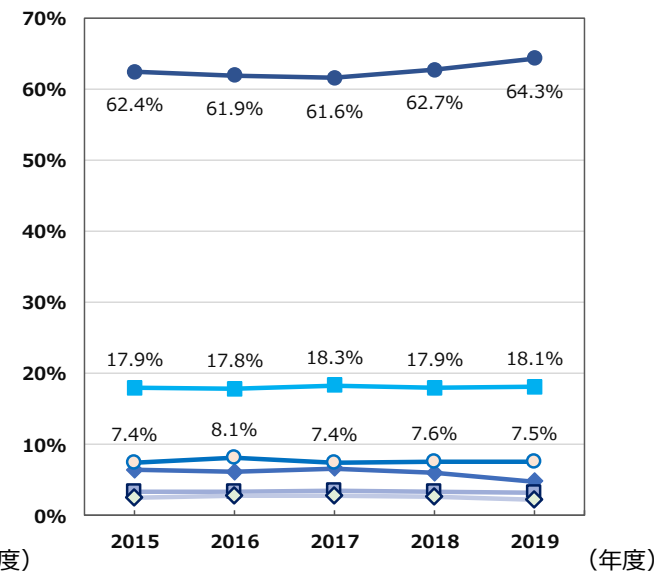
グラフでは機関分類「その他」を除いて示した。

### 分担・再委託機関

機関数（分担・再委託）



構成比率

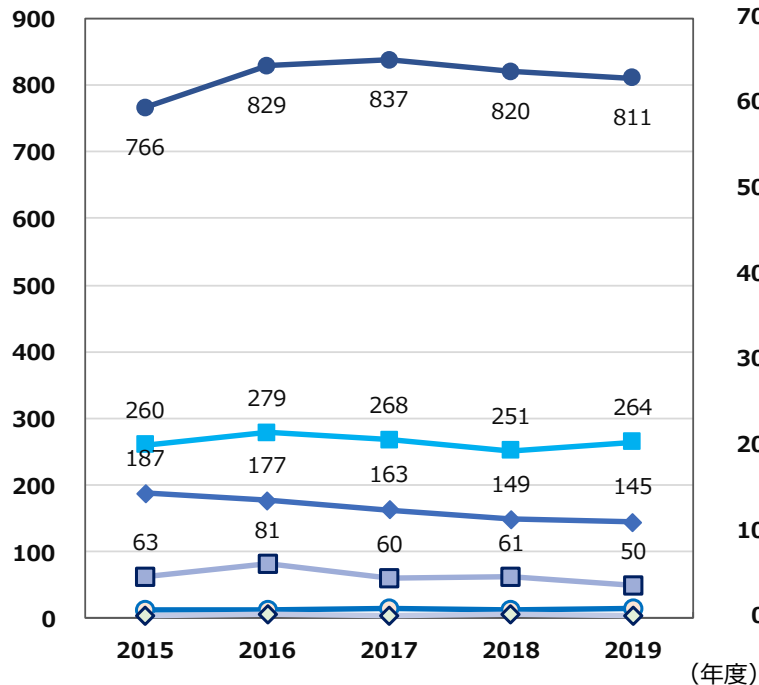


### 研究機関の分類

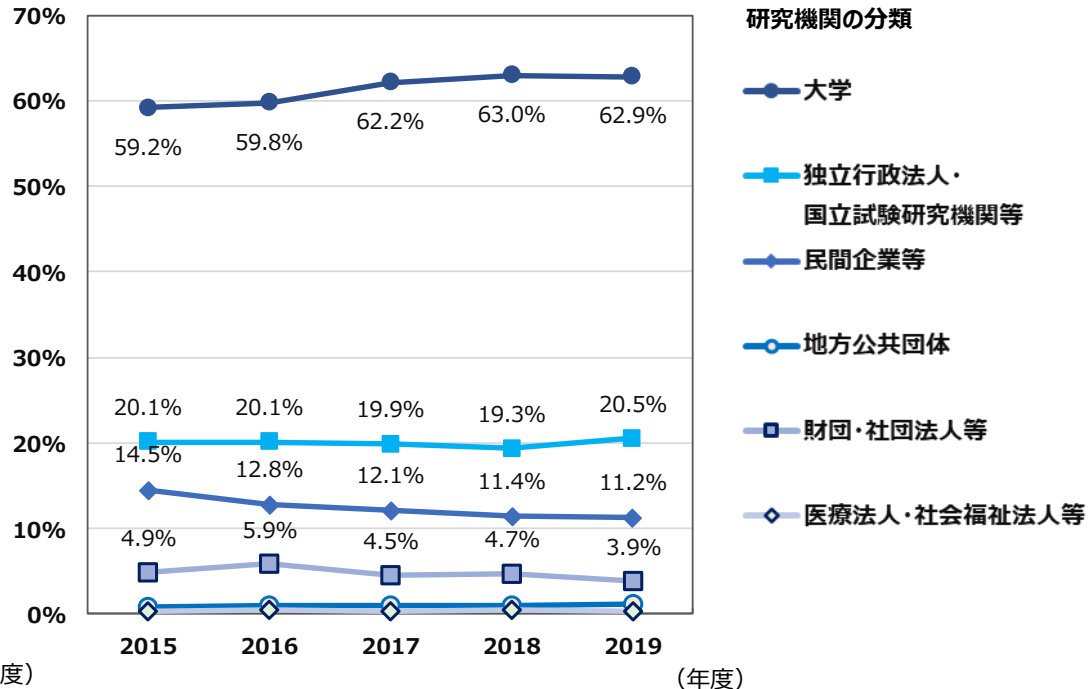
- 大学
- 独立行政法人・国立試験研究機関等
- ◆ 民間企業等
- 地方公共団体
- 財団・社団法人等
- ◇ 医療法人・社会福祉法人等

## 1.5. 研究機関の分類別の配分状況（第1期、2015~19年度） 3) 研究開発費の推移

研究開発費（億円）



構成比率



研究開発費は、AMEDが採択した研究開発課題を実施するために各機関が受領した金額をもとに集計した。

AMSのデータ（2021年1月27日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。  
グラフでは機関分類「その他」を除いて示した。

## 本集計における「研究機関の分類」について

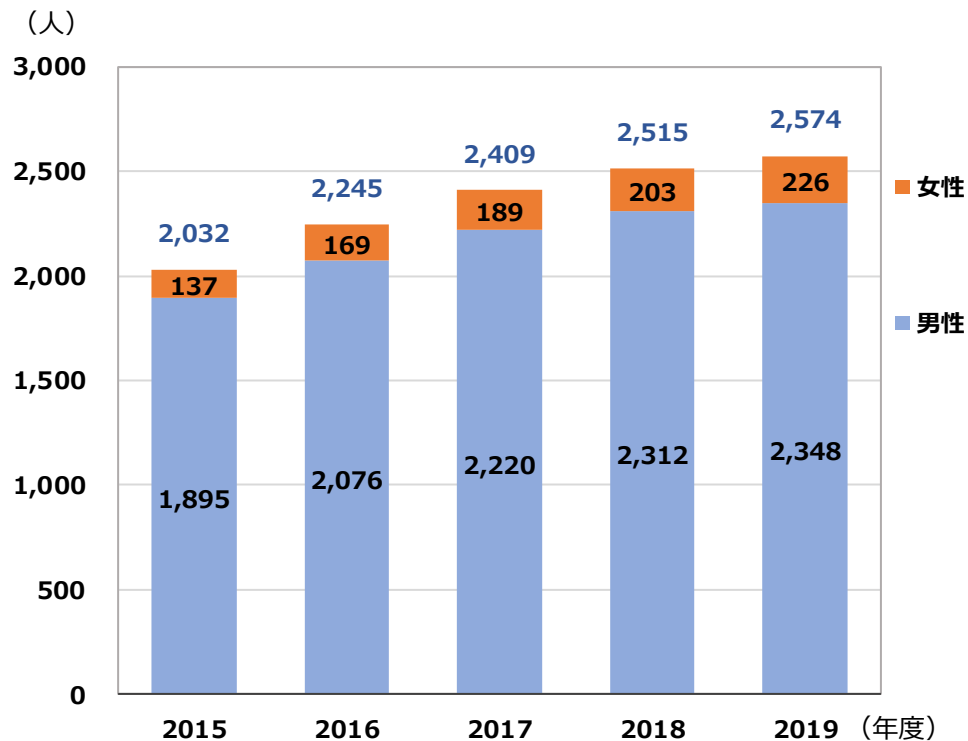
本集計では、e-Rad（府省共通研究開発管理システム）の研究機関区分に準拠した分類を採用した。

ただし、下記の分類については医療研究開発機関の観点などから必要な調整を行った。

- 「大学」には、大学附属病院、防衛医科大学校を含む。
- 「独立行政法人・国立試験研究機関等（独立行政法人等）」には、国立高度専門医療研究センター（国立がん研究センター、国立循環器病研究センター、国立精神・神経医療研究センター、国立国際医療研究センター、国立成育医療研究センター、国立長寿医療研究センター）、国立研究開発法人（理化学研究所等）、国立試験研究機関（国立医薬品食品衛生研究所、国立感染症研究所等）、大学共同利用機関（国立遺伝学研究所、自然科学研究機構、高エネルギー加速器研究機構等）を含む。
- 「地方公共団体」には、地方独立行政法人、県立・市立病院などを含む。
- 「民間企業等」には、企業連合の次世代バイオ医薬品製造技術研究組合、企業関連の病院などを含む。
- 「財団・社団法人等」には、特定非営利活動法人（NPO法人）を含む。
- 「医療法人・社会福祉法人等」には、特殊法人及び特別認可法人の日本赤十字社および関連機関、国家公務員共済組合関連機関（虎の門病院等）などを含む。

## 2. 研究代表者に関する集計

## 2.1. 研究代表者数 男女計、男女別、女性比率の推移（第1期、2015~19年度）



年度		2015	2016	2017	2018	2019
増加率 (対前年)	男性	-	9.6%	6.9%	4.1%	1.6%
	女性	-	23.4%	11.8%	7.4%	11.3%
	総数	-	10.5%	7.3%	4.4%	2.3%
女性比率		6.7%	7.5%	7.8%	8.1%	8.8%

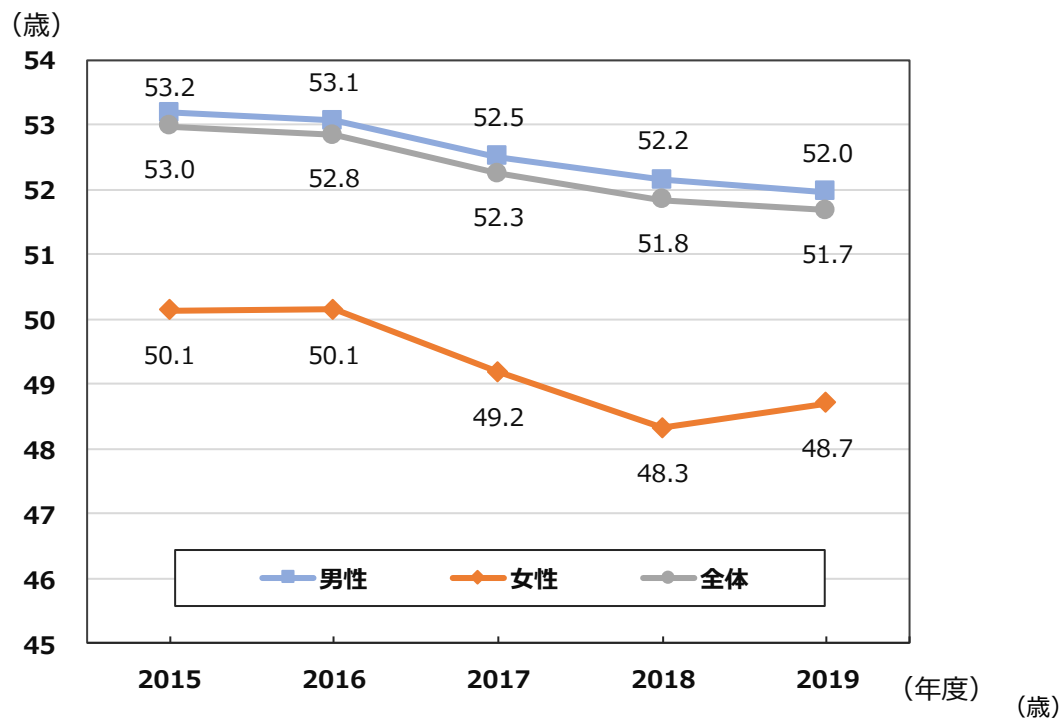
研究代表者の性別はe-Rad（府省共通研究開発管理システム）の性別による。

研究代表者は、新規ならびに継続分を含む、当該年度の延べの合計人数。

AMSのデータ（2020年9月23日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。



## 2.2. 研究代表者 平均年齢（男女別）の推移（第1期、2015~19年度）

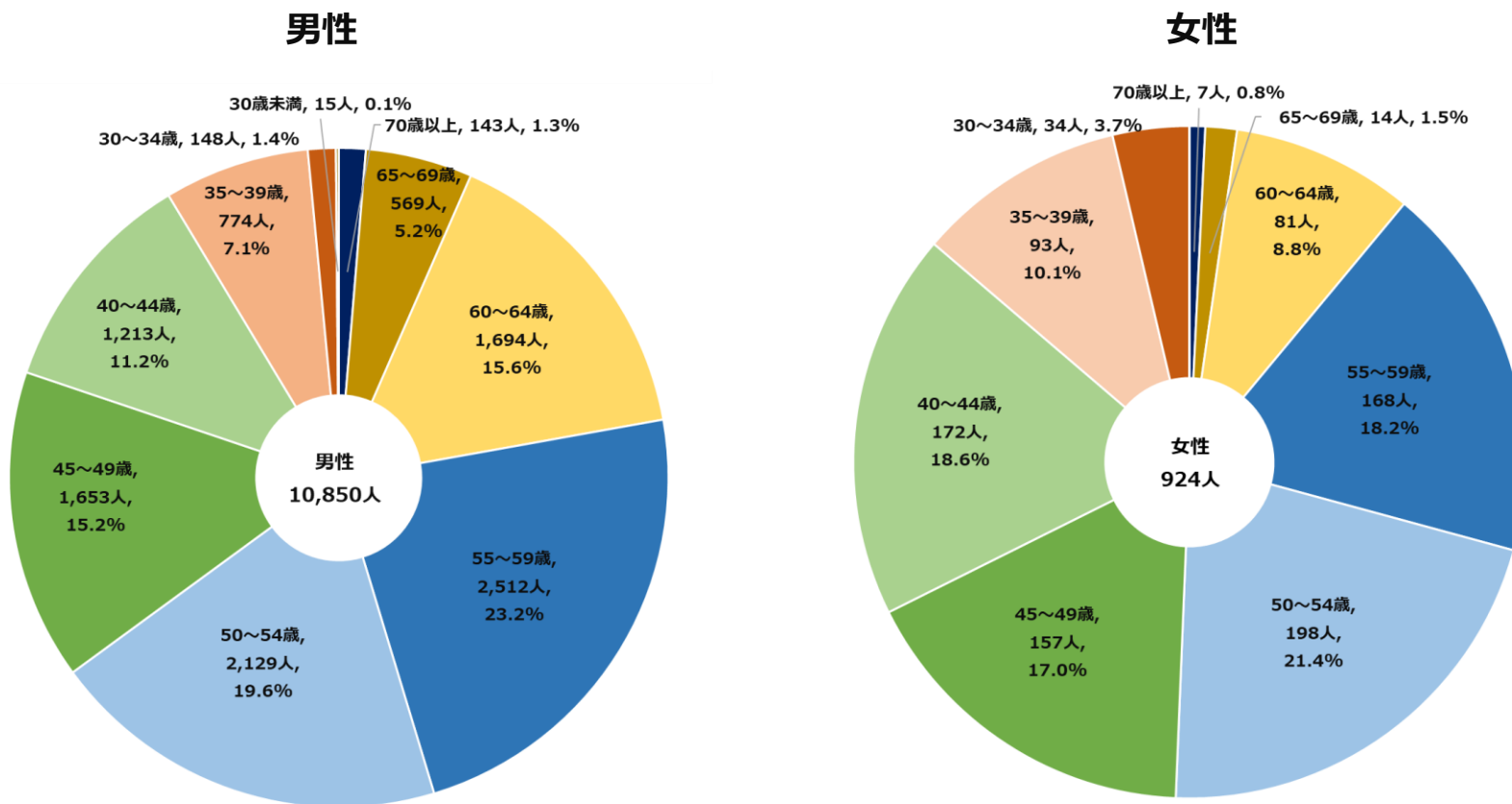


年度	2015	2016	2017	2018	2019	5年平均
男性	53.2	53.1	52.5	52.2	52.0	52.5
女性	50.1	50.1	49.2	48.3	48.7	49.2
全体	53.0	52.8	52.3	51.8	51.7	52.3

研究代表者の性別ならびに年齢は、e-Rad（府省共通研究開発管理システム）による。  
 年齢は、研究代表者の生年月日をもとに、研究実施年度の年度当初の満年齢とした。  
 平均年齢は、新規ならびに継続分を含む当該年度の延べの研究代表者数をもとに集計した。

AMSのデータ（2020年9月23日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

## 2.3. 研究代表者 年齢階級別の人数（男性、女性）（第1期、2015~19年度）1）5年計

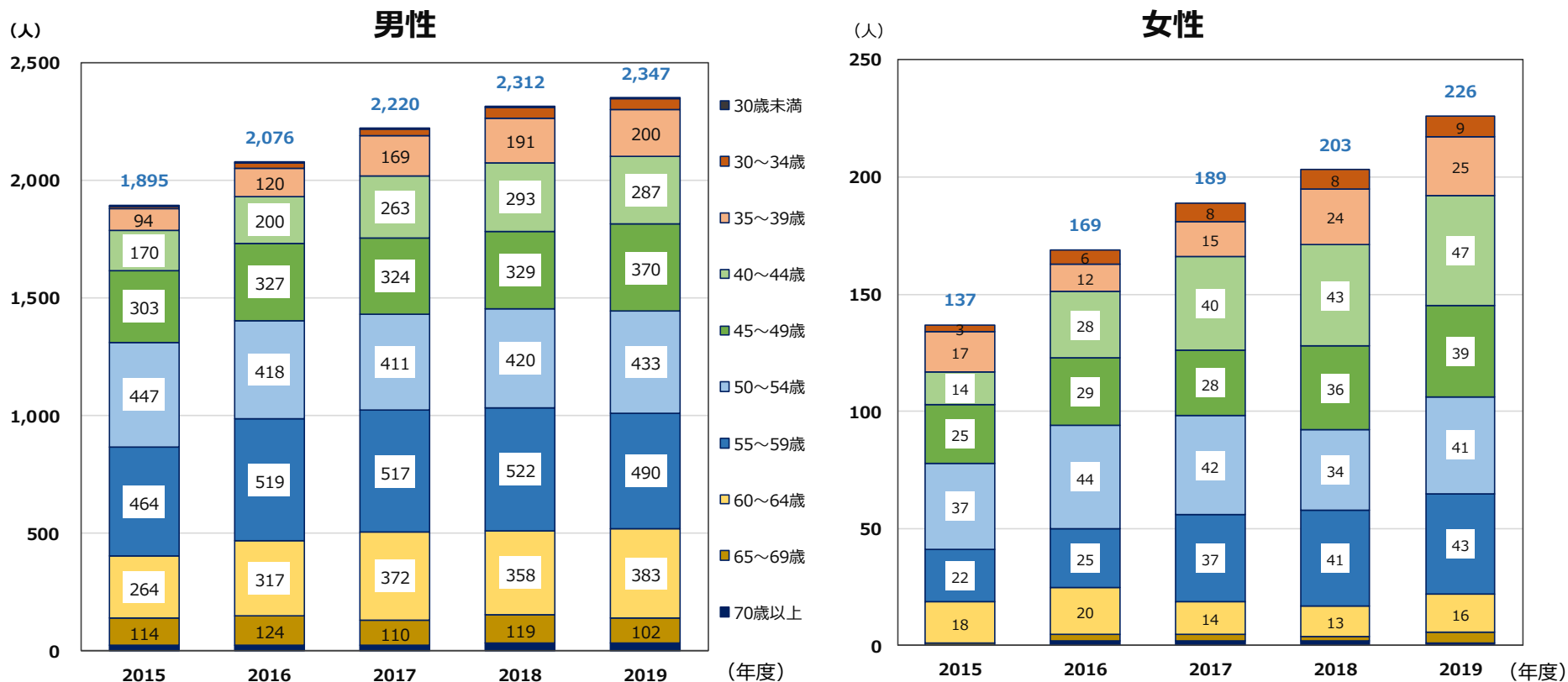


研究代表者の性別ならびに年齢は、e-Rad（府省共通研究開発管理システム）による。

年齢は、研究代表者の生年月日をもとに、研究実施年度の年度当初の満年齢とし、延べの研究代表者数により年齢階級別に集計した。

AMSのデータ（2020年9月23日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

## 2.3. 研究代表者 年齢階級別の人数（男性、女性）（第1期、2015~19年度）2）推移

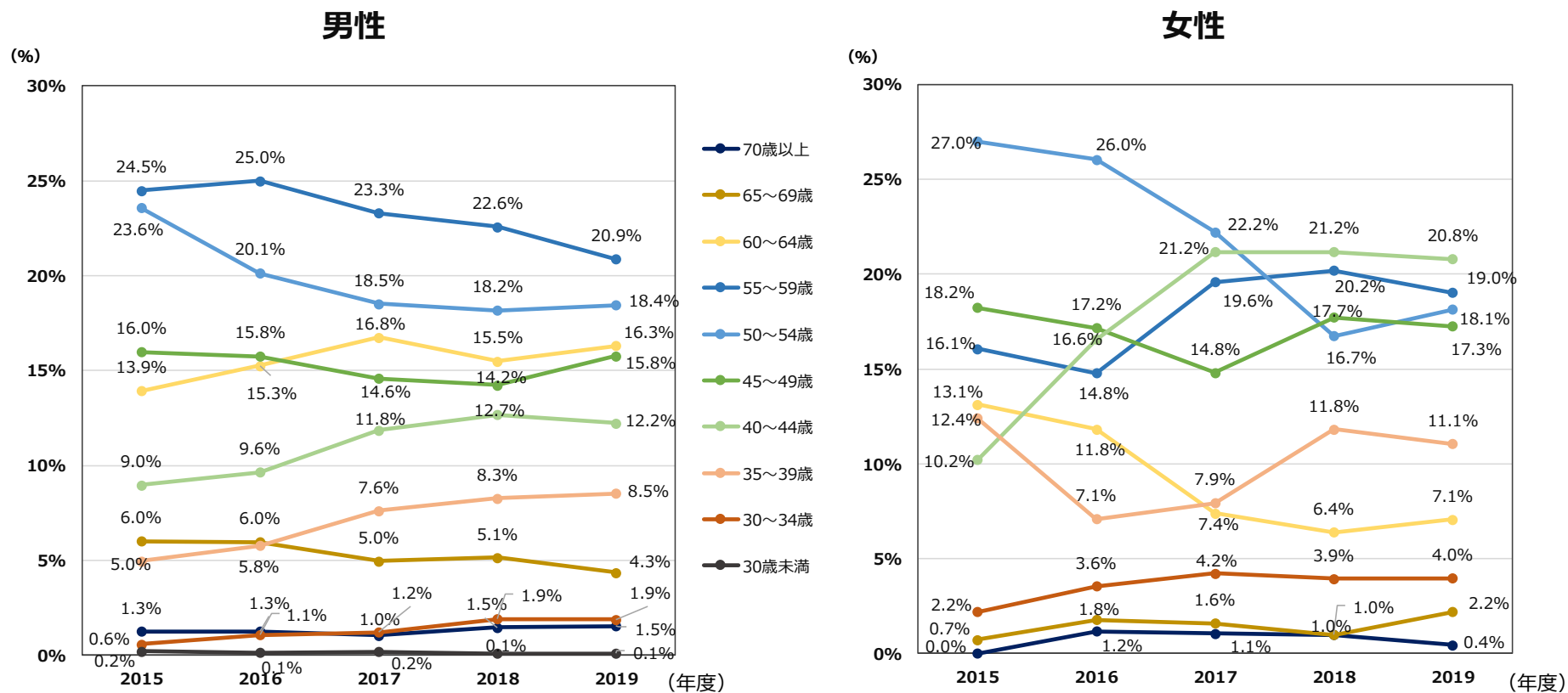


研究代表者の性別ならびに年齢は、e-Rad（府省共通研究開発管理システム）による。

年齢は、研究代表者の生年月日をもとに、研究実施年度の年度当初の満年齢とし、新規ならびに継続分を含む当該年度の延べの研究代表者により年齢階級別に集計した。

AMSのデータ（2020年9月23日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

## 2.3. 研究代表者 年齢階級別の人数（男性、女性）（第1期、2015~19年度）3）構成比率の推移

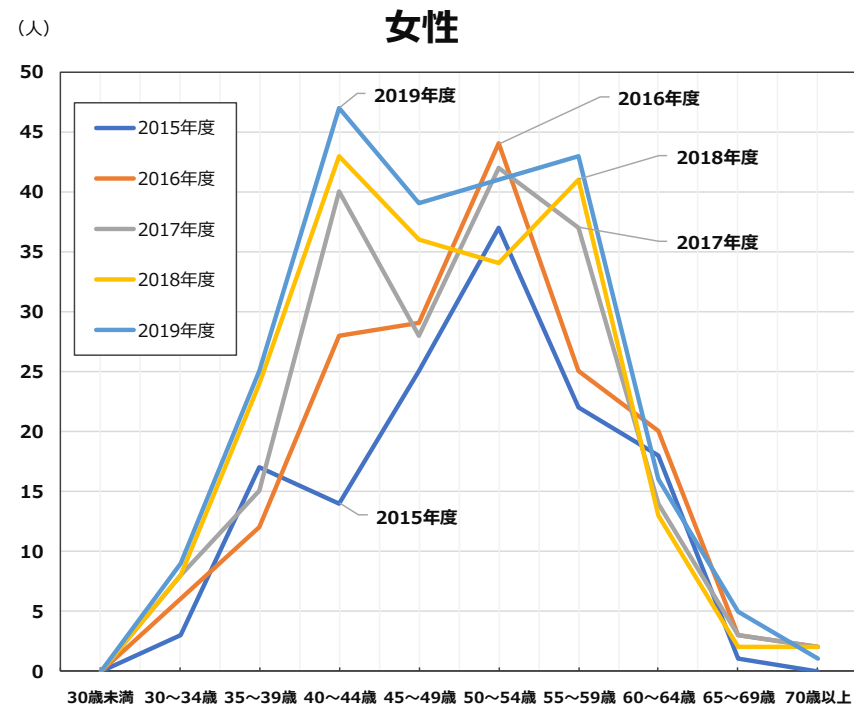
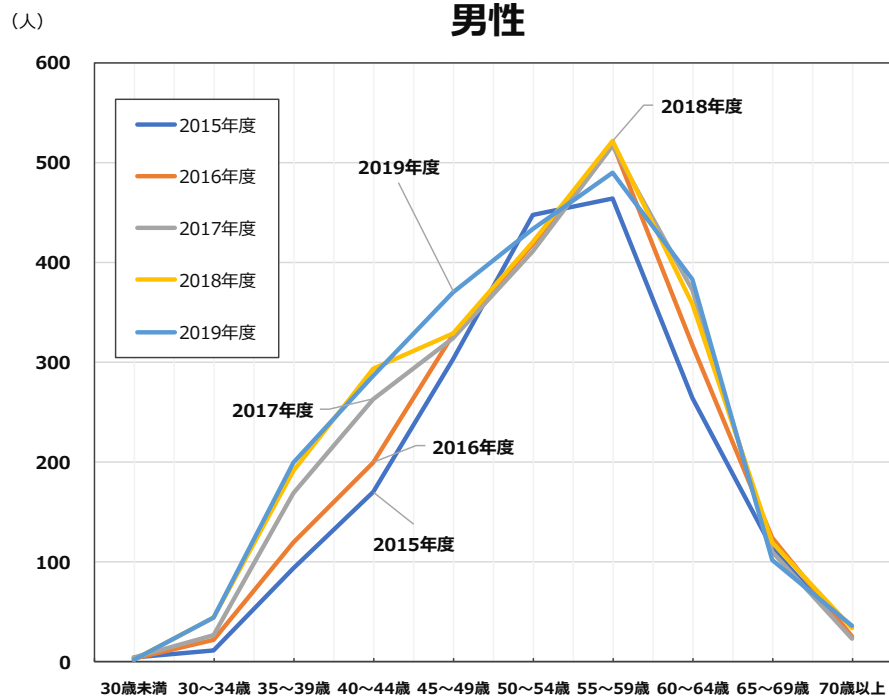


研究代表者の性別ならびに年齢は、e-Rad（府省共通研究開発管理システム）による。

年齢は、研究代表者の生年月日をもとに、研究実施年度の年度当初の満年齢とし、新規ならびに継続分を含む当該年度の延べの研究代表者により年齢階級別に集計した。

AMSのデータ（2020年9月23日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

## 2.4. 年齢階級別 年度別の状況（男性、女性）（第1期、2015~19年度）



研究代表者の性別ならびに年齢は、e-Rad（府省共通研究開発管理システム）による。

年齢は、研究代表者の生年月日をもとに、研究実施年度の年度当初の満年齢とし、新規ならびに継続分を含む当該年度の延べの研究代表者により年齢階級別に集計した。

AMSのデータ（2020年9月23日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

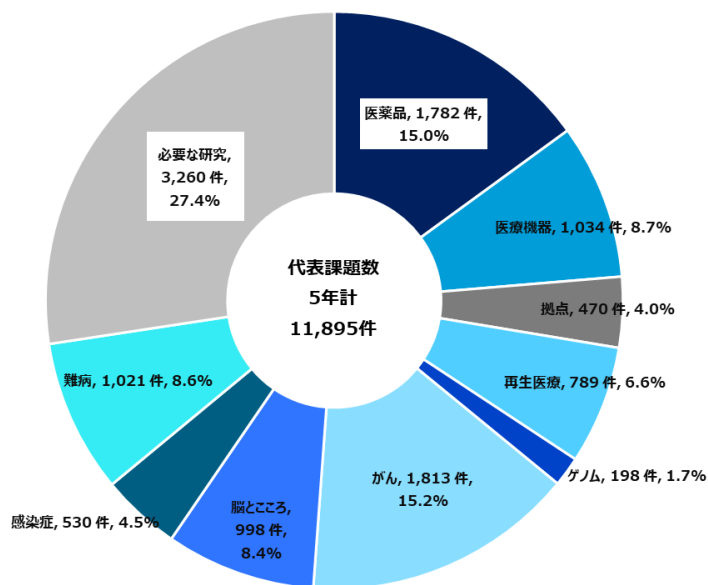
# 3. 代表課題、研究開発費に 関する集計

### 3.1. 第1期プロジェクト別 代表課題数、研究開発費（第1期、2015~19年度） 1) 5年計

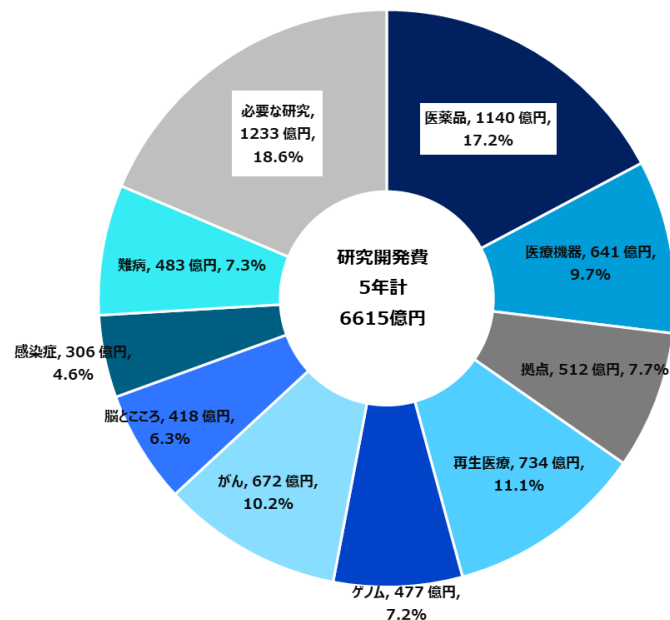
○ AMED 第1期プロジェクト名 対応表

プロジェクト名	図名称
オールジャパンでの医薬品創出プロジェクト	医薬品
オールジャパンでの医療機器開発プロジェクト	医療機器
革新的医療技術創出拠点プロジェクト	拠点
再生医療実現プロジェクト	再生医療
疾病克服に向けたゲノム医療実現プロジェクト	ゲノム
ジャパン・キャンサーリサーチ・プロジェクト	がん
脳とこころの健康大国実現プロジェクト	脳とこころ
新興・再興感染症制御プロジェクト	感染症
難病克服プロジェクト	難病
健康・医療戦略の推進に必要な研究開発事業	必要な研究

代表課題数



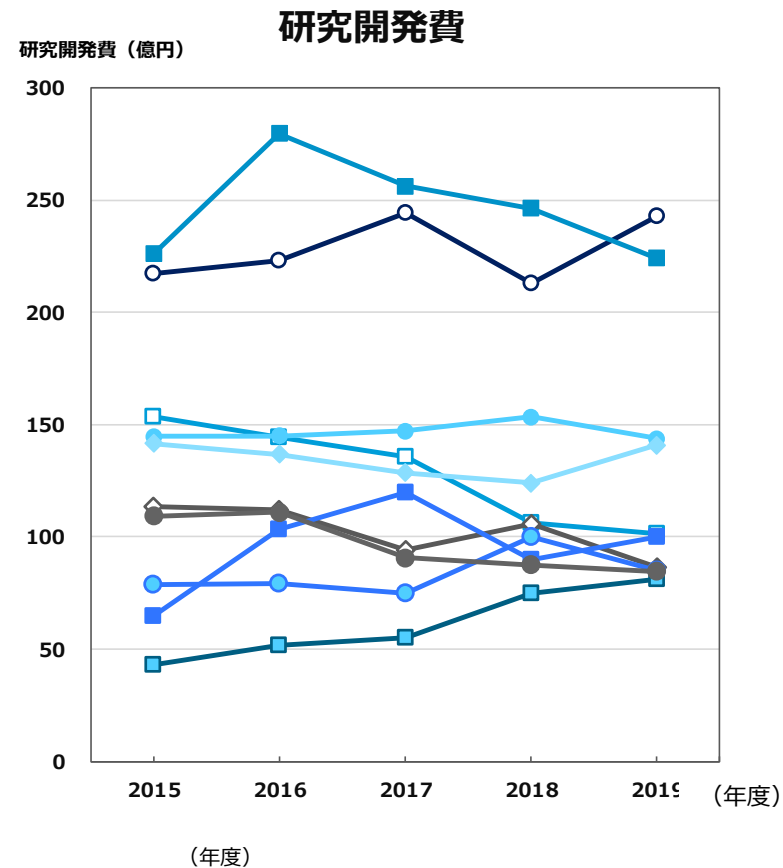
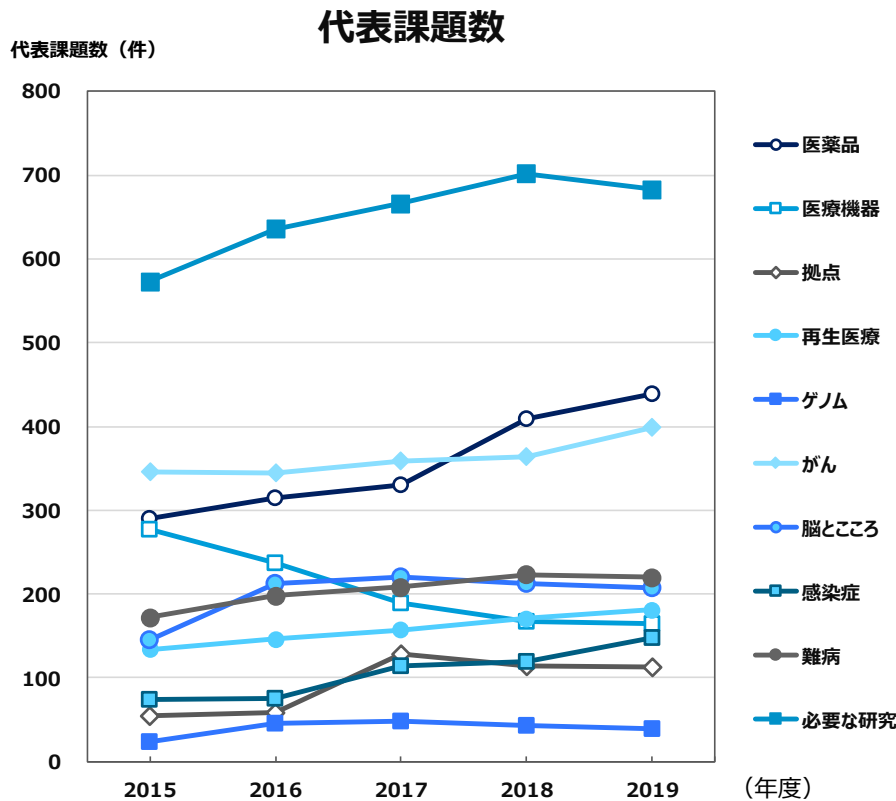
研究開発費



代表課題数、研究開発費は、新規ならびに継続分を含む、各年度の合計。

### 3.1. 第1期プロジェクト別 代表課題数、研究開発費（第1期、2015~19年度）

### 2) 推移



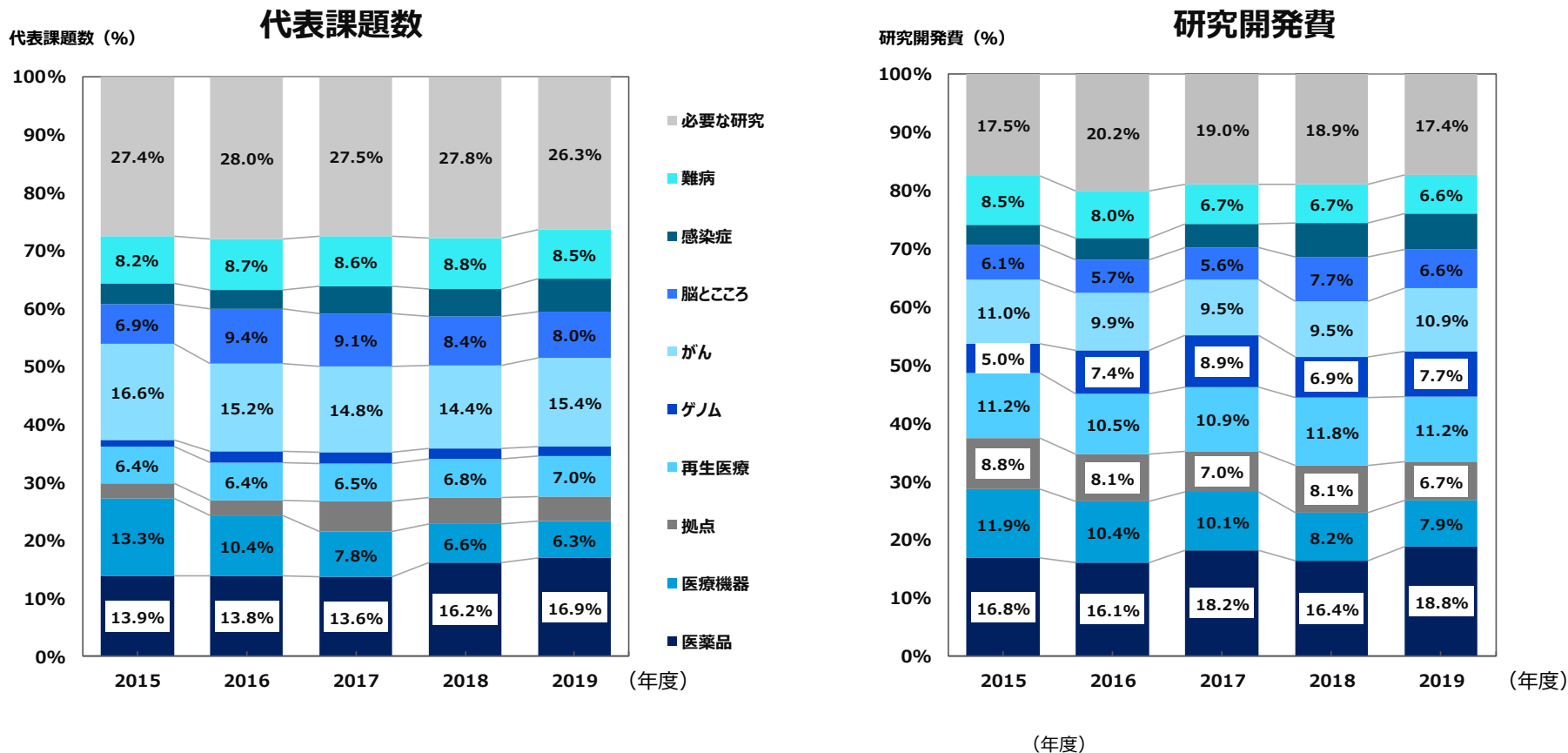
プロジェクト名	代表課題数 (件)					合計	研究開発費 (億円)					合計
	2015	2016	2017	2018	2019		2015	2016	2017	2018	2019	
オールジャパンでの医薬品創出プロジェクト	290	314	330	409	439	1,782	217	223	244	213	243	1140
オールジャパンでの医療機器開発プロジェクト	277	237	189	167	164	1,034	153	144	136	106	102	641
革新的医療技術創出拠点プロジェクト	55	59	129	114	113	470	114	112	94	106	86	512
再生医療実現プロジェクト	134	146	157	171	181	789	145	145	147	153	144	734
疾病克服に向けたゲノム医療実現プロジェクト	23	45	48	43	39	198	65	103	120	90	100	477
ジャパン・カンサーリサーチ・プロジェクト	346	345	359	364	399	1,813	142	137	128	124	141	672
脳とこころの健康大国実現プロジェクト	145	213	220	213	207	998	79	79	75	100	85	418
新興・再興感染症制御プロジェクト	74	75	114	119	148	530	43	52	55	75	81	306
難病克服プロジェクト	172	198	208	223	220	1,021	109	111	91	87	85	483
健康・医療戦略の推進に必要な研究開発事業	573	636	666	702	683	3,260	226	280	256	246	224	1233
合計	2,089	2,268	2,420	2,525	2,593	11,895	1292	1386	1346	1301	1290	6615

代表課題数、研究開発費は、新規ならびに継続分を含む当該年度の合計。

AMSのデータ（2021年1月27日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CICLE）の課題を除いた。



### 3.1. 第1期プロジェクト別 代表課題、研究開発費（第1期、2015～19年度） 3) 構成比率の推移



プロジェクト名	代表課題数 (%)					合計	研究開発費 (%)					合計
	2015	2016	2017	2018	2019		2015	2016	2017	2018	2019	
オールジャパンでの医薬品創出プロジェクト	13.9%	13.8%	13.6%	16.2%	16.9%	15.0%	16.8%	16.1%	18.2%	16.4%	18.8%	17.2%
オールジャパンでの医療機器開発プロジェクト	13.3%	10.4%	7.8%	6.6%	6.3%	8.7%	11.9%	10.4%	10.1%	8.2%	7.9%	9.7%
革新的医療技術創出拠点プロジェクト	2.6%	2.6%	5.3%	4.5%	4.4%	4.0%	8.8%	8.1%	7.0%	8.1%	6.7%	7.7%
再生医療実現プロジェクト	6.4%	6.4%	6.5%	6.8%	7.0%	6.6%	11.2%	10.5%	10.9%	11.8%	11.2%	11.1%
疾病克服に向けたゲノム医療実現プロジェクト	1.1%	2.0%	2.0%	1.7%	1.5%	1.7%	5.0%	7.4%	8.9%	6.9%	7.7%	7.2%
ジャパン・キャンサーリサーチ・プロジェクト	16.6%	15.2%	14.8%	14.4%	15.4%	15.2%	11.0%	9.9%	9.5%	9.5%	10.9%	10.2%
脳とこころの健康大国実現プロジェクト	6.9%	9.4%	9.1%	8.4%	8.0%	8.4%	6.1%	5.7%	5.6%	7.7%	6.6%	6.3%
新興・再興感染症制御プロジェクト	3.5%	3.3%	4.7%	4.7%	5.7%	4.5%	3.3%	3.7%	4.1%	5.7%	6.3%	4.6%
難病克服プロジェクト	8.2%	8.7%	8.6%	8.8%	8.5%	8.6%	8.5%	8.0%	6.7%	6.7%	6.6%	7.3%
健康・医療戦略の推進に必要な研究開発事業	27.4%	28.0%	27.5%	27.8%	26.3%	27.4%	17.5%	20.2%	19.0%	18.9%	17.4%	18.6%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

代表課題数、研究開発費は、新規ならびに継続分を含む当該年度の合計を100%として算出。

AMSのデータ（2021年1月27日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CICLE）の課題を除いた。

### 3.2. 対象疾患別 代表課題数、研究開発費（第1期、2015~19年度） 1) 推移

(年度)

対象疾患名	代表課題数 (件)						研究開発費 (億円)					
	2015	2016	2017	2018	2019	合計	2015	2016	2017	2018	2019	合計
感染症および寄生虫症	193	205	236	247	246	1,127	105	114	106	117	103	545
新生物	478	493	539	549	584	2,643	237	285	283	258	257	1320
血液および造血器の疾患ならびに免疫	20	23	32	40	39	154	11	10	11	14	17	63
内分泌, 栄養および代謝疾患	79	90	94	97	83	443	40	45	45	46	36	213
精神および行動の障害	100	142	146	142	150	680	36	46	42	49	52	224
神経系の疾患	145	176	172	201	201	895	89	91	89	111	92	471
眼および付属器の疾患	29	37	43	45	43	197	27	25	28	31	24	135
耳および乳様突起の疾患	16	15	14	16	11	72	4	3	5	4	3	19
循環器系の疾患	118	128	141	138	133	658	72	75	75	63	87	372
呼吸器系の疾患	34	33	46	51	49	213	17	28	33	30	14	122
消化器系の疾患	54	57	65	75	77	328	32	34	34	38	35	173
皮膚および皮下組織の疾患	18	27	30	31	27	133	6	13	30	13	12	74
筋骨格系および結合組織の疾患	63	57	50	54	52	276	27	25	20	22	20	114
尿路性器系の疾患	20	27	36	37	39	159	6	8	11	11	14	49
妊娠, 分娩および産じょく<褥>	2	4	5	5	5	21	0	1	1	1	1	4
周産期に発生した病態	5	5	7	10	9	36	4	2	2	2	2	12
先天奇形, 変形および染色体異常	41	42	50	48	52	233	23	19	16	17	21	96
症状, 徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他	33	33	35	33	39	173	11	11	20	21	23	86
損傷, 中毒およびその他の外因の影響	54	56	59	62	59	290	25	24	25	22	19	114
傷病および死亡の外因	0	1	0	2	2	5	0	0	0	0	0	0
健康状態に影響をおよぼす要因および保健サー	15	19	12	12	9	67	14	24	9	4	3	54
その他	76	86	70	42	20	294	104	112	88	44	28	376
該当なし<対象とする疾患なし>	496	511	538	585	661	2,791	403	390	376	380	423	1972
不明	0	1	0	3	3	7	0	2	0	2	3	7
合計	2,089	2,268	2,420	2,525	2,593	11,895	1292	1386	1346	1301	1290	6615

対象疾患は、ICD10国際疾病分類第10版2013年度版の大分類に、「その他」「該当なし(対象とする疾患なし)\*」を加えて集計。( \* p27下部参照)

AMSの「対象疾患」では、各代表課題に主な対象疾患としてICD10疾病分類を1つ付与している。

「その他」はICD10に分類できない疾患を対象としている課題である。

「該当なし<対象とする疾患なし>」には、疾患横断的に研究の基盤を支える研究課題、現時点で対象疾患が定まっていないが今後多様な疾患が対象となりうる研究課題などが含まれる。

### 3.2. 対象疾患別 代表課題数、研究開発費（第1期、2015~19年度） 2）構成比率の推移

(年度)

対象疾患名	代表課題数 (%)						研究開発費 (%)					
	2015	2016	2017	2018	2019	合計	2015	2016	2017	2018	2019	合計
感染症および寄生虫症	9.2%	9.0%	9.8%	9.8%	9.5%	9.5%	8.1%	8.3%	7.9%	9.0%	8.0%	8.2%
新生物	22.9%	21.7%	22.3%	21.7%	22.5%	22.2%	18.3%	20.6%	21.0%	19.8%	19.9%	20.0%
血液および造血器の疾患ならびに免疫	1.0%	1.0%	1.3%	1.6%	1.5%	1.3%	0.8%	0.7%	0.8%	1.1%	1.3%	0.9%
内分泌、栄養および代謝疾患	3.8%	4.0%	3.9%	3.8%	3.2%	3.7%	3.1%	3.3%	3.3%	3.6%	2.8%	3.2%
精神および行動の障害	4.8%	6.3%	6.0%	5.6%	5.8%	5.7%	2.8%	3.3%	3.1%	3.8%	4.0%	3.4%
神経系の疾患	6.9%	7.8%	7.1%	8.0%	7.8%	7.5%	6.9%	6.6%	6.6%	8.5%	7.1%	7.1%
眼および付属器の疾患	1.4%	1.6%	1.8%	1.8%	1.7%	1.7%	2.1%	1.8%	2.1%	2.4%	1.9%	2.0%
耳および乳様突起の疾患	0.8%	0.7%	0.6%	0.6%	0.4%	0.6%	0.3%	0.2%	0.4%	0.3%	0.2%	0.3%
循環器系の疾患	5.6%	5.6%	5.8%	5.5%	5.1%	5.5%	5.6%	5.4%	5.6%	4.8%	6.8%	5.6%
呼吸器系の疾患	1.6%	1.5%	1.9%	2.0%	1.9%	1.8%	1.3%	2.0%	2.4%	2.3%	1.1%	1.8%
消化器系の疾患	2.6%	2.5%	2.7%	3.0%	3.0%	2.8%	2.5%	2.5%	2.5%	2.9%	2.7%	2.6%
皮膚および皮下組織の疾患	0.9%	1.2%	1.2%	1.2%	1.0%	1.1%	0.4%	1.0%	2.2%	1.0%	1.0%	1.1%
筋骨格系および結合組織の疾患	3.0%	2.5%	2.1%	2.1%	2.0%	2.3%	2.1%	1.8%	1.5%	1.7%	1.5%	1.7%
尿路性器系の疾患	1.0%	1.2%	1.5%	1.5%	1.5%	1.3%	0.4%	0.6%	0.8%	0.9%	1.1%	0.7%
妊娠、分娩および産後<褥>	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
周産期に発生した病態	0.2%	0.2%	0.3%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%
先天奇形、変形および染色体異常	2.0%	1.9%	2.1%	1.9%	2.0%	2.0%	1.8%	1.3%	1.2%	1.3%	1.6%	1.5%
症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他	1.6%	1.5%	1.4%	1.3%	1.5%	1.5%	0.9%	0.8%	1.5%	1.6%	1.8%	1.3%
損傷、中毒およびその他の外因の影響	2.6%	2.5%	2.4%	2.5%	2.3%	2.4%	1.9%	1.7%	1.8%	1.7%	1.5%	1.7%
傷病および死亡の外因	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
健康状態に影響をおよぼす要因および保健サ-	0.7%	0.8%	0.5%	0.5%	0.3%	0.6%	1.1%	1.7%	0.7%	0.3%	0.2%	0.8%
その他	3.6%	3.8%	2.9%	1.7%	0.8%	2.5%	8.0%	8.1%	6.5%	3.4%	2.1%	5.7%
該当なし<対象とする疾患なし>	23.7%	22.5%	22.2%	23.2%	25.5%	23.5%	31.2%	28.1%	27.9%	29.2%	32.8%	29.8%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%	0.1%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

対象疾患は、ICD10国際疾病分類第10版2013年度版の大分類に、「その他」「該当なし(対象とする疾患なし)\*」を加えて集計。( \* p27下部参照)

AMSの「対象疾患」では、各代表課題に主な対象疾患としてICD10疾病分類を1つ付与している。

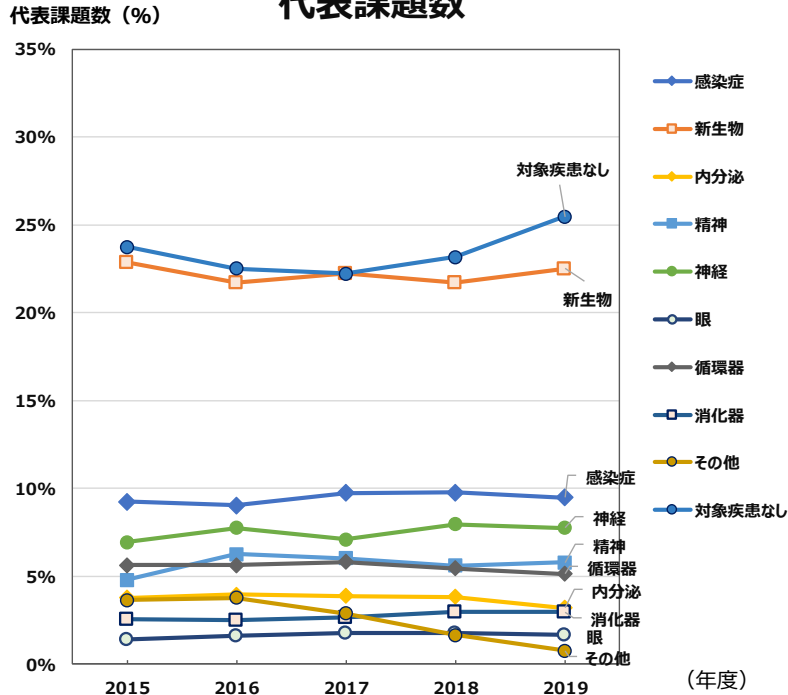
「その他」はICD10に分類できない疾患を対象としている課題である。

「該当なし<対象とする疾患なし>」には、疾患横断的に研究の基盤を支える研究課題、現時点で対象疾患が定まっていなかったが今後多様な疾患が対象となりうる研究課題などが含まれる。

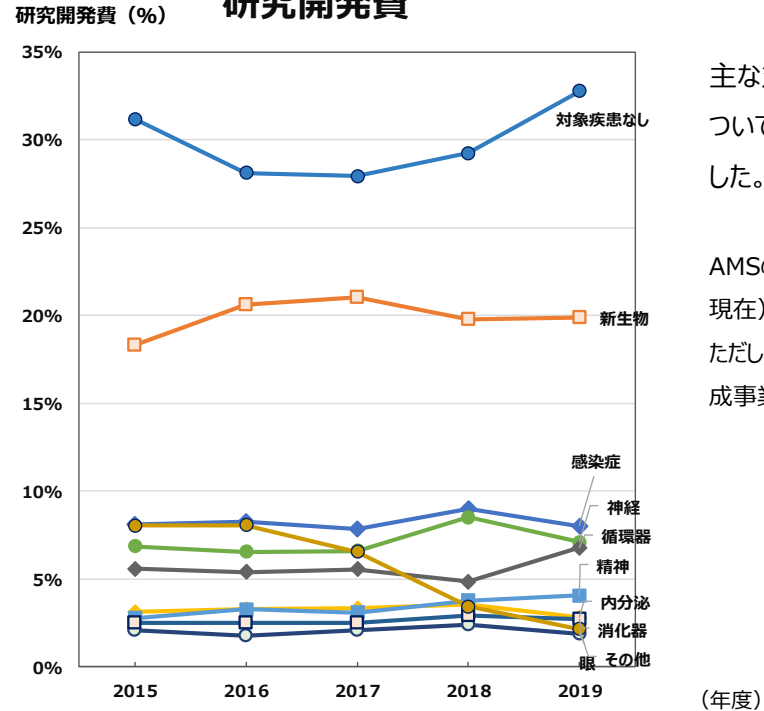
AMSのデータ(2021年1月27日現在)をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業(CICLE)の課題を除いた。各年度の合計値を100%として構成比率を示した。

### 3.2. 対象疾患別（第1期、2015~19年度） 3) 主な対象疾患（10疾患）構成比率の推移

代表課題数



研究開発費



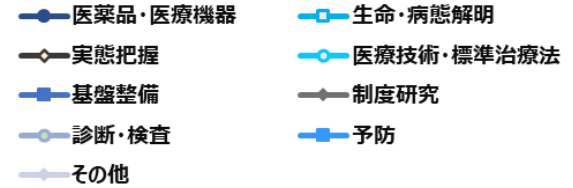
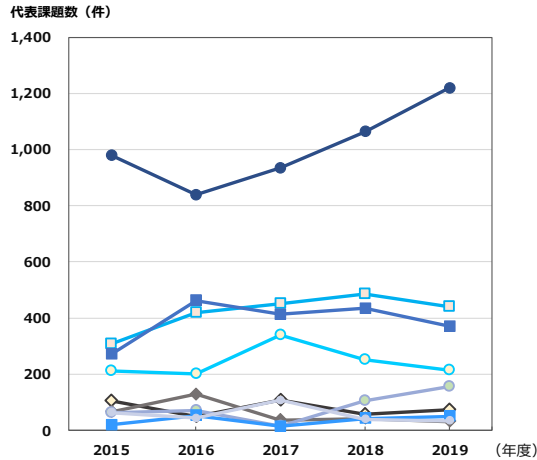
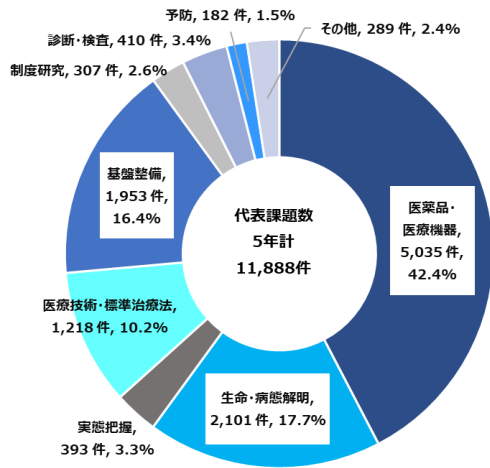
主な対象疾患（10疾患）について構成比率により推移を示した。

AMSのデータ（2021年1月27日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

対象疾患名	代表課題数 (%)					合計	研究開発費 (%)					合計
	2015	2016	2017	2018	2019		2015	2016	2017	2018	2019	
該当なし<対象とする疾患なし>	23.7%	22.5%	22.2%	23.2%	25.5%	23.5%	31.2%	28.1%	27.9%	29.2%	32.8%	29.8%
新生物	22.9%	21.7%	22.3%	21.7%	22.5%	22.2%	18.3%	20.6%	21.0%	19.8%	19.9%	20.0%
感染症および寄生虫症	9.2%	9.0%	9.8%	9.8%	9.5%	9.5%	8.1%	8.3%	7.9%	9.0%	8.0%	8.2%
神経系の疾患	6.9%	7.8%	7.1%	8.0%	7.8%	7.5%	6.9%	6.6%	6.6%	8.5%	7.1%	7.1%
その他	3.6%	3.8%	2.9%	1.7%	0.8%	2.5%	8.0%	8.1%	6.5%	3.4%	2.1%	5.7%
循環器系の疾患	5.6%	5.6%	5.8%	5.5%	5.1%	5.5%	5.6%	5.4%	5.6%	4.8%	6.8%	5.6%
精神および行動の障害	4.8%	6.3%	6.0%	5.6%	5.8%	5.7%	2.8%	3.3%	3.1%	3.8%	4.0%	3.4%
内分泌、栄養および代謝疾患	3.8%	4.0%	3.9%	3.8%	3.2%	3.7%	3.1%	3.3%	3.3%	3.6%	2.8%	3.2%
消化器系の疾患	2.6%	2.5%	2.7%	3.0%	3.0%	2.8%	2.5%	2.5%	2.5%	2.9%	2.7%	2.6%
眼および付属器の疾患	1.4%	1.6%	1.8%	1.8%	1.7%	1.7%	2.1%	1.8%	2.1%	2.4%	1.9%	2.0%

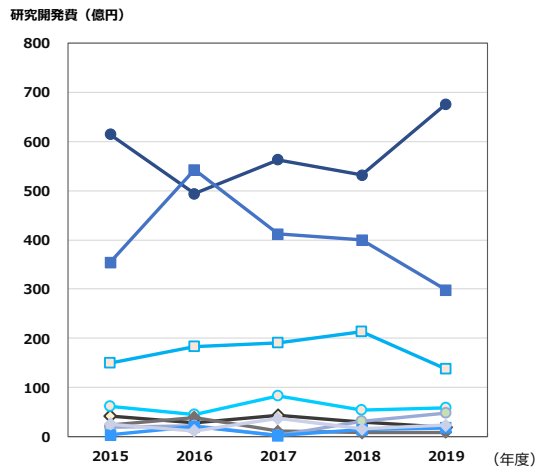
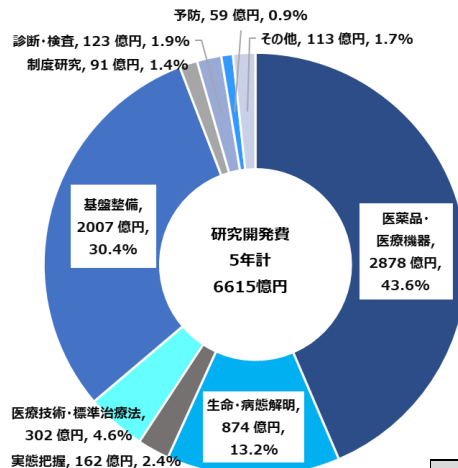
\*「該当なし<対象とする疾患なし>」には、疾患横断的に研究の基盤を支える研究課題、現時点で対象疾患が定まっていないが今後多様な疾患が対象となりうる研究課題などが含まれる。具体的には、創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業、東北メディカル・メガバンク計画、次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業、再生医療実現拠点ネットワークプログラム、革新的先端研究開発支援事業、ナショナルバイオリソースプロジェクト等の事業により実施された研究課題がある。

### 3.3. 研究の性格（第1期、2015~19年度）



#### ○「研究の性格」の内容説明（ ）は図表記

1. 医薬品・医療機器等の開発を目指す研究<医療機器開発につながるシステム開発を含む>（医薬品・医療機器）
2. 生命・病態解明等を目指す研究（生命・病態解明）
3. 調査等の解析による実態把握を目指す研究<フィールドワーク、サーベイランス、モニタリングを含む>（実態把握）
4. 医療技術・標準治療法の確立等につながる研究<診療の質を高めるためのエビデンス構築<診療ガイドライン作成等>を含む>（医療技術・標準治療法）
5. 研究基盤及び創薬基盤の整備研究<創薬技術・ICT基盤・プラットフォーム関係含む>（基盤整備）
6. 医療薬事制度・介護制度の改良及び技術支援等につながる研究<国際保健<制度>の技術支援等につながる研究を含む>（制度研究）
7. 新規診断法・検査法・検査体制の開発、確立、検証<診断薬・診断機器開発は除く>（診断・検査）
8. 予防のためのエビデンス構築を目指す研究<疫学を含む>（予防）



(年度)

研究の性格	代表課題数 (件)						研究開発費 (億円)					
	2015	2016	2017	2018	2019	合計	2015	2016	2017	2018	2019	合計
医薬品・医療機器等の開発を目指す研究	980	839	934	1,063	1,219	5,035	615	494	563	532	676	2,878
生命・病態解明等を目指す研究	307	418	451	485	440	2,101	149	182	191	214	138	874
調査等の解析による実態把握を目指す研究	105	49	109	57	73	393	42	28	44	30	19	162
医療技術・標準治療法の確立等につながる研究	211	200	340	252	215	1,218	61	44	84	54	59	302
研究基盤及び創薬基盤の整備研究	271	463	413	435	371	1,953	354	543	412	400	298	2,007
医療薬事制度・介護制度の改良及び技術支援等につながる研究	67	129	37	42	32	307	23	39	11	8	9	91
新規診断法・検査法・検査体制の開発、確立、検証	64	72	14	105	155	410	19	22	3	31	48	123
予防のためのエビデンス構築を目指す研究	20	53	15	43	51	182	4	20	2	14	18	59
その他	64	44	107	40	34	289	25	12	37	15	23	113
不明	-	1	-	3	3	7	0	2	0	2	3	7
合計	2,089	2,268	2,420	2,525	2,593	11,895	1,292	1,386	1,346	1,301	1,290	6,615

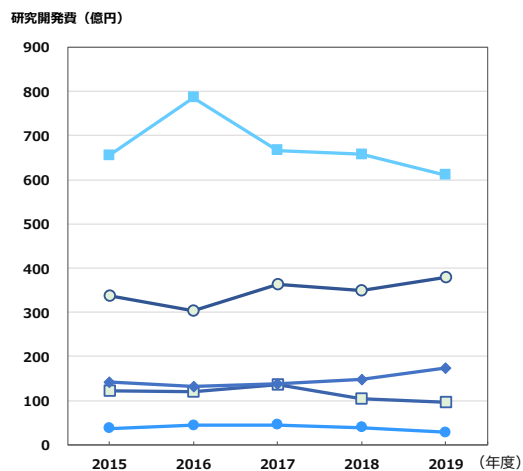
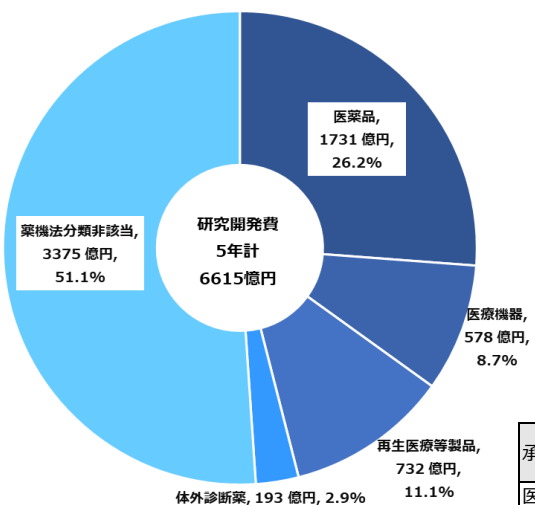
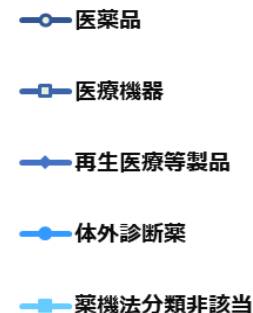
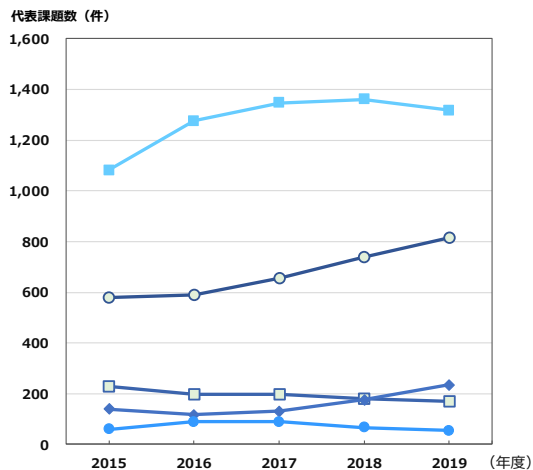
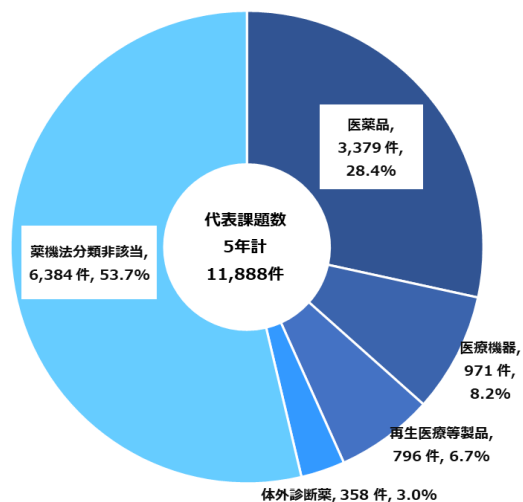
研究の性格が「不明」の場合を除いて示した。

AMSのデータ（2021年1月27日現在）をもとに集計。

ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CICLE）

の課題を除いた。

### 3.4. 承認上の分類（第1期、2015~19年度） 1）全体



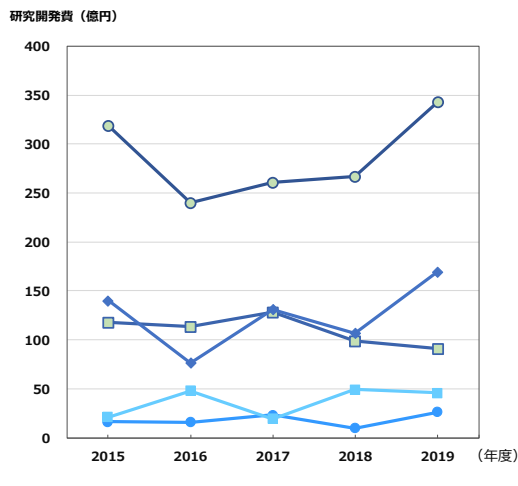
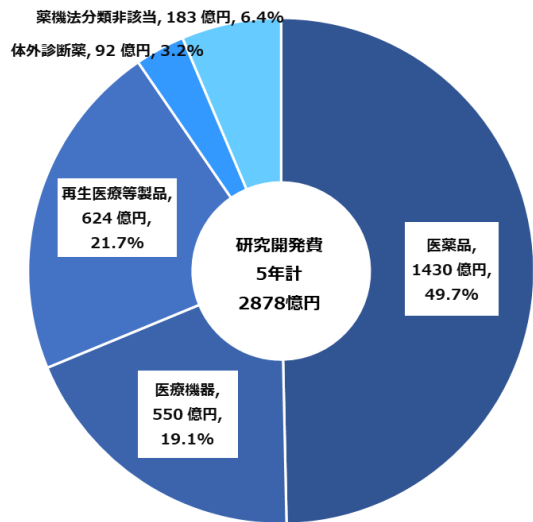
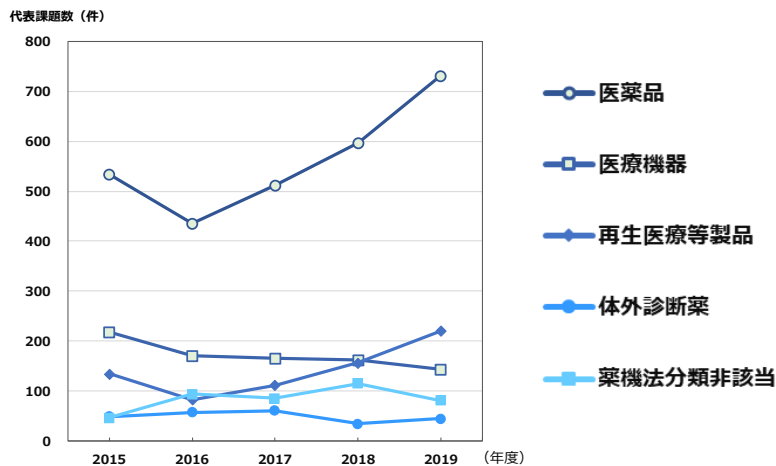
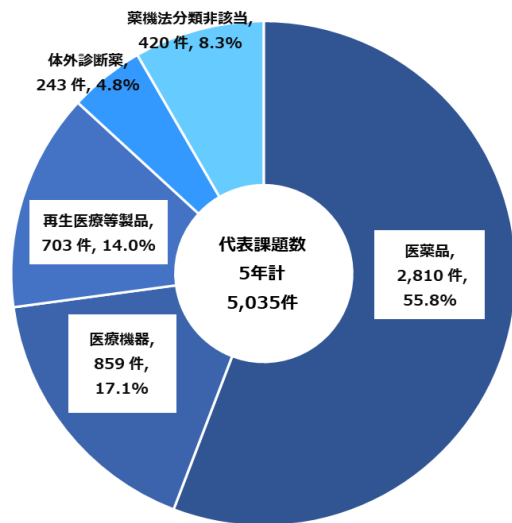
研究の性格が「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」では「承認上の分類」の付与を義務付けており、それ以外の性格の課題では任意で「承認上の分類」が付与されている。グラフでは、承認上の分類が「不明」の場合を除いて示した。

AMSのデータ（2021年1月27日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CICLE）の課題を除いた。

(年度)

承認上の分類	代表課題数 (件)					合計	研究開発費 (億円)					合計
	2015	2016	2017	2018	2019		2015	2016	2017	2018	2019	
医薬品	579	590	657	739	814	3,379	337	303	363	350	378	1731
医療機器	230	196	196	180	169	971	121	120	135	105	96	578
再生医療等製品	139	116	131	175	235	796	142	132	137	148	174	732
体外診断薬	59	89	89	67	54	358	36	44	45	39	28	193
薬機法分類非該当	1,082	1,276	1,347	1,361	1,318	6,384	656	786	666	657	611	3375
不明	-	1	-	3	3	7	-	2	-	2	3	7
合計	2,089	2,268	2,420	2,525	2,593	11,895	1292	1386	1346	1301	1290	6615

### 3.4. 承認上の分類（第1期、2015~19年度） 2）医薬品・医療機器等の開発を目指す研究



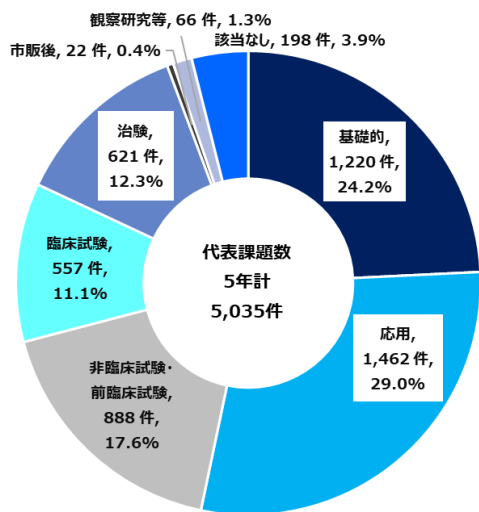
承認上の分類の付与が義務付けられている「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」について内訳を示した。

AMSのデータ（2021年1月27日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

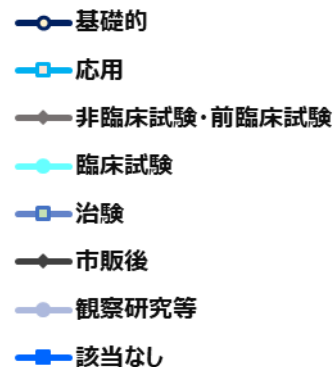
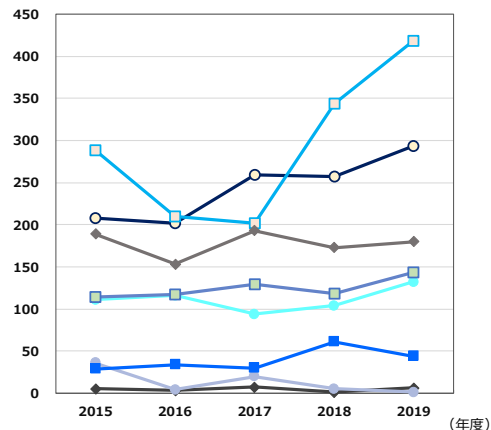
医薬品・医療機器等の開発を目指す研究＜医療機器開発につながるシステム開発を含む＞

承認上の分類	代表課題数 (件)					合計	研究開発費 (億円)					合計
	2015	2016	2017	2018	2019		2015	2016	2017	2018	2019	
医薬品	534	436	512	597	731	2,810	319	240	261	267	343	1430
医療機器	218	171	166	161	143	859	118	114	128	99	91	550
再生医療等製品	134	82	111	156	220	703	140	76	131	107	170	624
体外診断薬	48	57	60	34	44	243	16	16	23	10	26	92
薬機法分類非該当	46	93	85	115	81	420	21	48	19	49	46	183
合計	980	839	934	1,063	1,219	5,035	615	494	563	532	676	2878

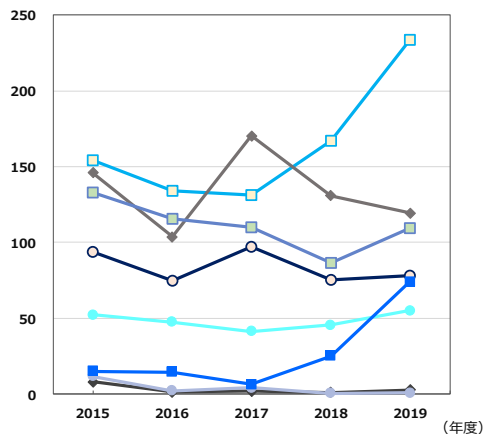
### 3.5. 開発段階別（第1期、2015~19年度） 医薬品・医療機器等の開発を目指す研究



代表課題数（件）

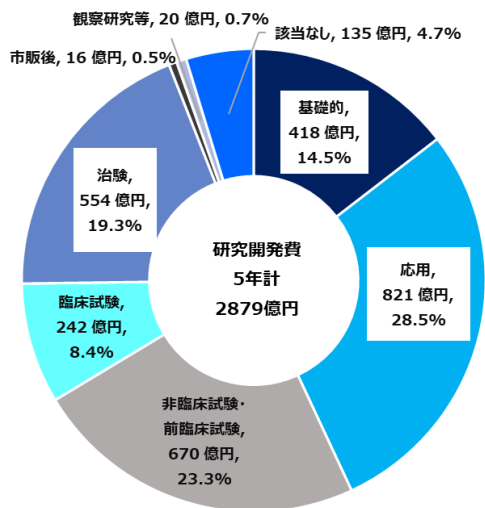


研究開発費（億円）



研究の性格が「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」である代表課題について集計。  
グラフでは開発段階「不明」の場合を除いて示した。

AMSのデータ（2021年1月27日現在）をもとに集計。  
ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CICLE）の課題を除いた。



開発段階	代表課題数（件）					合計	研究開発費（億円）					合計
	2015	2016	2017	2018	2019		2015	2016	2017	2018	2019	
基礎的	208	202	259	257	294	1,220	94	75	97	75	78	418
応用	288	210	202	344	418	1,462	154	134	131	167	234	821
非臨床試験・前臨床試験	189	153	193	173	180	888	146	104	170	131	119	670
臨床試験	111	116	94	104	132	557	52	48	42	46	55	242
治験	114	117	129	118	143	621	133	116	110	86	110	554
市販後	5	3	7	1	6	22	8	1	2	1	3	16
観察研究等	36	4	20	5	1	66	12	2	4	1	1	20
該当なし	29	34	30	61	44	198	15	14	6	25	74	135
不明	-	-	-	-	1	1	0	0	0	0	1	1
合計	980	839	934	1,063	1,219	5,035	615	494	563	532	676	2,878

\*「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」について集計



# 4 .AMS搭載情報を用いた分析例

## 分析対象としたAMSデータ

2021年2月17日更新データ

上記データから医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた11,895件について、AMSによる検索結果を可視化し、AMEDが支援する研究の傾向等进行分析・俯瞰し、AMED内の他事業との連携や事業横断的な研究の方向性を検討する際等に参考となる情報を提供する専用ツールによる集計数値

## 4.1. 研究支援の全体状況

#### 4.1.1. 研究の性格×対象疾患（第1期、2015～2019年度）クロス集計 1）代表課題数

(件)

	医薬品・医療機器等の開発を目指す研究	生命・病態解明等を目指す研究	調査等の解析による実態把握を目指す研究	医療技術・標準治療法の確立等につながる研究	研究基盤及び創薬基盤の整備研究	医療薬事制度・介護制度の改良及び技術支援等につながる研究	新規診断法・検査法・検査体制の開発、確立、検証	予防のためのエビデンス構築を目指す研究	その他	総計
新生物	1,598	212	28	462	174	11	93	42	23	2,643
感染症および寄生虫症	453	279	146	66	71	7	72	26	7	1,127
内分泌、栄養および代謝疾患	188	88	12	43	52	24	12	22	2	443
先天奇形、変形および染色体異常	118	45	7	32	15	14	0	2	0	233
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	71	47	5	12	11	2	6	0	0	154
精神および行動の障害	145	165	25	145	96	19	54	22	9	680
神経系の疾患	439	211	15	105	77	2	38	1	7	895
眼および付属器の疾患	118	10	8	5	43	5	4	0	4	197
耳および乳突突起の疾患	32	8	6	16	1		7	2	0	72
循環器系の疾患	348	87	27	109	45	5	26	9	2	658
呼吸器系の疾患	97	35	26	23	20	0	7	5	0	213
消化器系の疾患	210	61	8	16	22	6	5	0	0	328
皮膚および皮下組織の疾患	44	58	1	14	9	2	2	3	0	133
筋骨格系および結合組織の疾患	155	53	6	30	12	6	9	3	2	276
尿路器系の疾患	68	40	4	19	6	2	15	5	0	159
妊娠、分娩および産じょく<褥>	5	12		1			1	2	0	21
周産期に発生した病態	13	3	4	4	2	3	7	0	0	36
症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	48	49	6	18	11	20	5	9	7	173
損傷、中毒およびその他の外因の影響	136	45	4	30	41	25	3	4	2	290
傷病および死亡の外因	0	0	1	1	2	1	0	0	0	5
健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	27	0	5	7	13	7	3	4	1	67
特殊目的用コード	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
該当なし<対象とする疾患なし>	662	502	42	34	1,146	131	39	14	221	2,791
その他	60	91	7	26	84	15	2	7	2	294
総計	5,035	2,101	393	1,218	1,953	307	410	182	289	11,888

対象疾患は、ICD10国際疾病分類第10版2013年度版の大分類に、「その他」「該当なし(対象とする疾患なし)」を加えて集計。

研究の性格と対象疾患の両方の研究開発タグが付与されている課題について内訳を示した。ただし、どちらかのタグが不明な場合を除いた。

AMSのデータ（2021年2月17日現在）をもとに集計。

ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CICLE）の課題を除いた。

## 4.1.1. 研究の性格×対象疾患（第1期、2015～2019年度）クロス集計 2）研究開発費

（億円）

	医薬品・医療機器等の開発を目指す研究	生命・病態説明等を目指す研究	調査等の解析による実態把握を目指す研究	医療技術・標準治療法の確立等につながる研究	研究基盤及び創薬基盤の整備研究	医療薬事制度・介護制度の改良及び技術支援等につながる研究	新規診断法・検査法・検査体制の開発、確立、検証	予防のためのエビデンス構築を目指す研究	その他	総計
新生物	797	103	10	135	215	5	26	15	13	1319
感染症および寄生虫症	252	80	84	14	58	1	28	13	13	543
内分泌、栄養および代謝疾患	97	42	1	9	51	3	6	7	0	216
先天奇形、変形および染色体異常	60	12	0	5	8	12	0	0	0	97
血液および造血系の疾患ならびに免疫機構の障害	37	15	0	1	7	1	2	0	0	63
精神および行動の障害	55	64	13	27	31	3	15	15	1	224
神経系の疾患	237	151	2	27	44	0	10	0	0	471
眼および付属器の疾患	97	4	1	1	32	1	0	0	0	136
耳および乳突突起の疾患	11	5	0	2	0	0	1	0	0	19
循環器系の疾患	246	30	3	23	62	0	7	1	0	372
呼吸器系の疾患	43	8	26	4	37	0	2	2	0	122
消化器系の疾患	122	24	3	2	20	1	1	0	0	173
皮膚および皮下組織の疾患	18	16	0	2	37	0	1	0	0	74
筋骨格系および結合組織の疾患	77	16	1	4	12	2	1	0	0	113
泌尿器系の疾患	28	10	1	5	2	0	4	1	0	51
妊娠、分娩および産じょく<褥>	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
周産期に発生した病態	6	0	1	1	1	0	3	0	0	12
症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	27	43	0	3	7	3	1	1	1	86
損傷、中毒およびその他の外因の影響	58	13	1	4	29	8	0	0	0	113
傷病および死亡の外因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	17	0	1	0	31	0	3	0	0	52
特殊目的用コード	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
該当なし<対象とする疾患なし>	453	177	10	17	1,176	45	11	1	83	1973
その他	145	59	2	17	147	5	0	1	0	376
総計	2884	874	162	302	2008	91	123	59	113	6616

対象疾患は、ICD10国際疾病分類第10版2013年度版の大分類に、「その他」「該当なし(対象とする疾患なし)」を加えて集計。

研究の性格と対象疾患の両方の研究開発タグが付与されている課題について内訳を示した。ただし、どちらかのタグが不明な場合を除いた。

AMSのデータ（2021年2月17日現在）をもとに集計。

ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

## 4.1.2.研究の性格×プロジェクト（第1期、2015～2019年度）クロス集計 1）代表課題数

(件)

	医薬品・医療機器等の開発を目指す研究	生命・病態解明等を目指す研究	調査等の解析による実態把握を目指す研究	医療技術・標準治療法の確立等につながる研究	研究基盤及び創薬基盤の整備研究	医療薬事制度・介護制度の改良及び技術支援等につながる研究	新規診断法・検査法・検査体制の開発、確立、検証	予防のためのエビデンス構築を目指す研究	その他	総計
オールジャパンでの医薬品創出プロジェクト	883	11	32	28	724	72	6		26	1,782
オールジャパンでの医療機器開発プロジェクト	772	20	1	22	95	77	27		14	1,028
革新的医療技術創出拠点プロジェクト	225			8	227		4		6	470
再生医療実現プロジェクト	448	111	2	6	207	5	1		9	789
疾病克服に向けたゲノム医療実現プロジェクト	13	74	2	8	89		8		4	198
ジャパン・キャンサーリサーチ・プロジェクト	1,079	79	23	441	60	6	82	34	9	1,813
脳とこころの健康大国実現プロジェクト	183	388	23	161	125	7	80	23	8	998
新興・再興感染症制御プロジェクト	176	112	88	25	54	1	44	28	2	530
難病克服プロジェクト	530	169	40	172	58	43	7		2	1,021
健康・医療戦略の推進に必要な研究開発事業	726	1,137	182	347	314	96	151	97	209	3,259
総計	5,035	2,101	393	1,218	1,953	307	410	182	289	11,888

研究の性格とプロジェクトの両方の研究開発タグが付与されている課題について内訳を示した。ただし、どちらかのタグが不明な場合を除いた。

AMSのデータ（2021年2月17日現在）をもとに集計。

ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CICLE）の課題を除いた。

## 4.1.2.研究の性格×プロジェクト（第1期、2015～2019年度）クロス集計 2）研究開発費

（億円）

	医薬品・医療機器等の開発を目指す研究	生命・病態解明等を目指す研究	調査等の解析による実態把握を目指す研究	医療技術・標準治療法の確立等につながる研究	研究基盤及び創薬基盤の整備研究	医療事業制度・介護制度の改良及び技術支援等につながる研究	新規診断法・検査法・検査体制の開発、確立、検証	予防のためのエビデンス構築を目指す研究	その他	総計
オールジャパンでの医薬品創出プロジェクト	500	2	5	4	605	7	1	0	15	1,139
オールジャパンでの医療機器開発プロジェクト	536	7	0	10	31	39	9	0	8	640
革新的医療技術創出拠点プロジェクト	145	0	0	4	361	0	1	0	2	513
再生医療実現プロジェクト	451	40	0	2	221	5	1	0	16	736
疾病克服に向けたゲノム医療実現プロジェクト	8	104	5	15	338	0	6	0	1	477
ジャパン・キャンサーリサーチ・プロジェクト	419	20	10	122	44	4	26	14	12	671
脳とこころの健康大国実現プロジェクト	62	217	13	39	45	1	24	14	0	415
新興・再興感染症制御プロジェクト	64	29	93	8	65	0	21	14	12	306
難病克服プロジェクト	308	47	4	28	73	19	1	0	1	481
健康・医療戦略の推進に必要な研究開発事業	390	407	31	69	224	16	32	16	45	1,230
総計	2,884	874	162	302	2,008	91	123	59	113	6,616

研究の性格とプロジェクトの両方の研究開発タグが付与されている課題について内訳を示した。ただし、どちらかのタグが不明な場合を除いた。

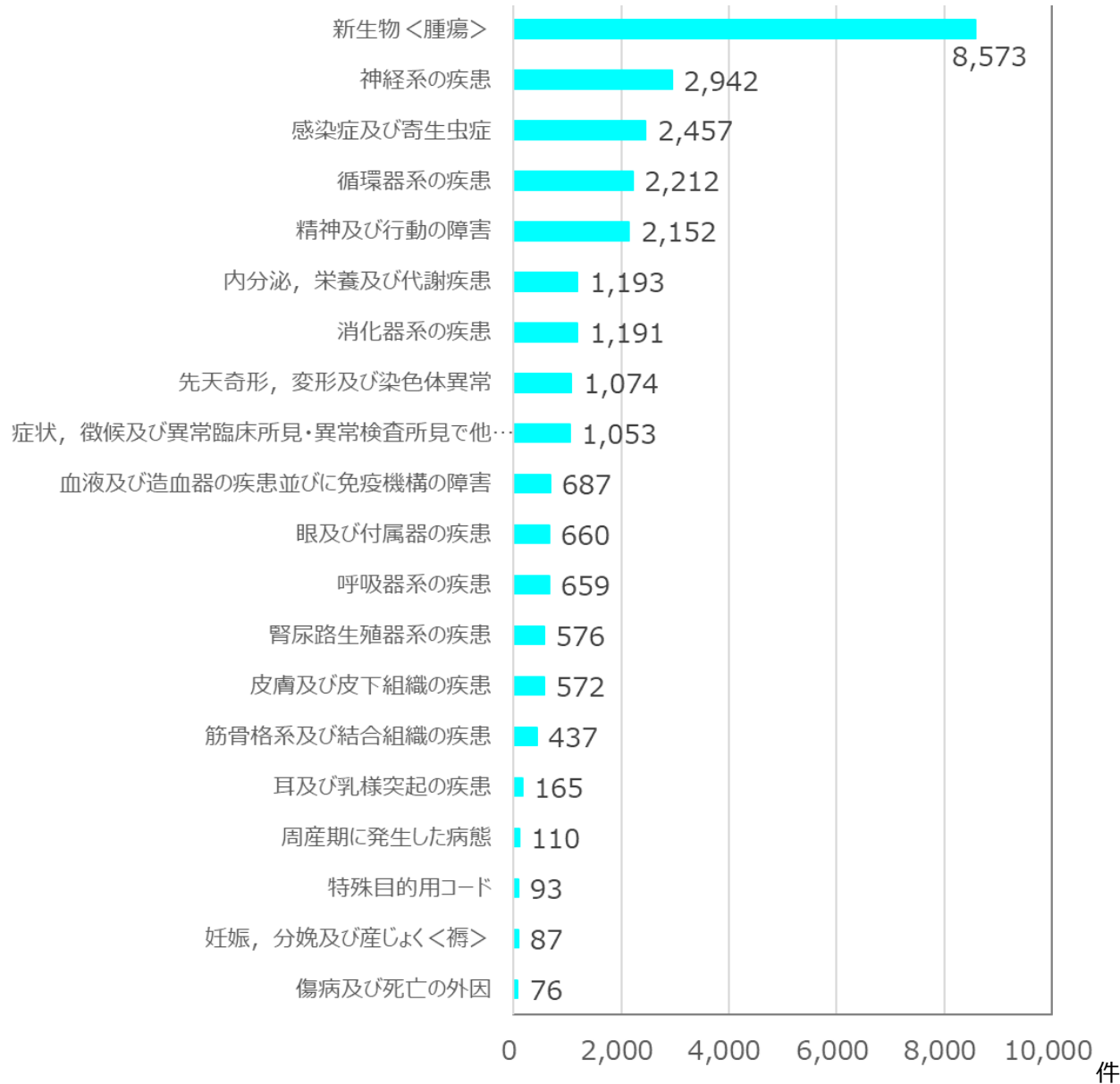
AMSのデータ（2021年2月17日現在）をもとに集計。

ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

## 4.2. 関連するすべての疾患を含めた場合 の集計（延べ数）



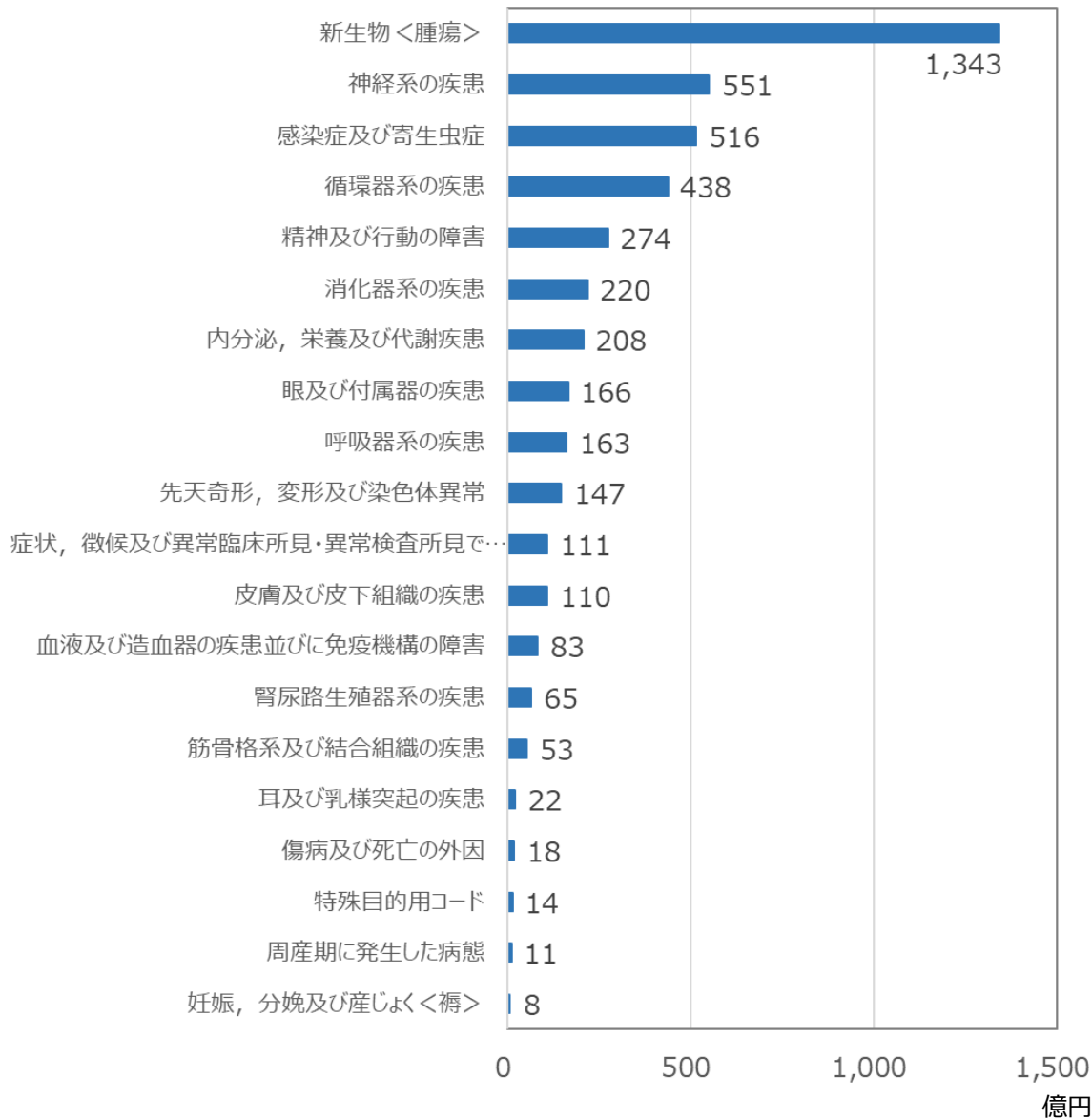
#### 4.2.1. ICD10疾病分類別（第1期、2015～2019年度）5年計 1）代表課題数（延べ数）



ICD10国際疾病分類第10版2013年度版の大分類から、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」「健康状態に影響を及ぼす要因および保険サービスの利用」を除いて集計。ただし、対象疾患が不明な場合を除いた。

AMSのデータ（2021年2月17日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

#### 4.2.1. ICD10疾病分類別（第1期、2015～2019年度）5年計 2）研究開発費（延べ数）



ICD10国際疾病分類第10版2013年度版の大分類から、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」「健康状態に影響を及ぼす要因および保険サービスの利用」を除いて集計。ただし、対象疾患が不明な場合を除いた。

AMSのデータ（2021年2月17日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

一つの課題に複数の疾患が含まれている場合は研究開発費を按分して集計。

## 4.2.2. ICD10疾病分類別（第1期、2015～2019年度）推移 1）代表課題数（延べ数）

(件)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	合計
感染症及び寄生虫症	439	474	508	470	454	2,345
新生物<腫瘍>	1,330	1,376	1,520	1,627	1,619	7,472
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	126	145	159	128	100	658
内分泌、栄養及び代謝疾患	253	274	257	199	174	1,157
精神及び行動の障害	327	489	446	414	383	2,059
神経系の疾患	539	630	612	533	472	2,786
眼及び付属器の疾患	119	141	143	125	98	626
耳及び乳様突起の疾患	41	43	32	27	18	161
循環器系の疾患	454	504	466	360	323	2,107
呼吸器系の疾患	124	126	139	119	112	620
消化器系の疾患	190	213	266	245	247	1,161
皮膚及び皮下組織の疾患	100	122	134	109	90	555
筋骨格系及び結合組織の疾患	90	84	97	82	69	422
腎尿路生殖器系の疾患	97	117	124	102	101	541
妊娠、分娩及び産じょく<褥>	14	17	16	17	20	84
周産期に発生した病態	15	18	24	22	25	104
先天奇形、変形及び染色体異常	230	243	238	160	159	1,030
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見 で他に分類されないもの	218	254	240	164	147	1,023
傷病及び死亡の外因	12	14	17	18	15	76
特殊目的用コード	7	12	18	17	32	86
小計	4,725	5,296	5,456	4,938	4,658	25,073

ICD10国際疾病分類第10版2013年度版の大分類から、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」「健康状態に影響を及ぼす要因および保険サービスの利用」を除いて集計。

ただし、対象疾患が不明な場合を除いた。

AMSのデータ（2021年2月17日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CICLE）の課題を除いた。

## 4.2.2. ICD10疾病分類別（第1期、2015～2019年度）推移 2）研究開発費（延べ数）

（億円）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	合計
感染症及び寄生虫症	95	99	96	114	98	502
新生物<腫瘍>	242	301	301	263	277	1,384
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	17	15	14	17	18	81
内分泌、栄養及び代謝疾患	38	44	42	42	38	204
精神及び行動の障害	48	55	53	58	55	269
神経系の疾患	107	109	108	126	102	552
眼及び付属器の疾患	36	34	36	36	26	168
耳及び乳様突起の疾患	4	4	6	6	5	25
循環器系の疾患	90	95	92	79	97	453
呼吸器系の疾患	30	41	39	28	18	156
消化器系の疾患	40	42	44	46	46	218
皮膚及び皮下組織の疾患	15	22	36	19	16	108
筋骨格系及び結合組織の疾患	11	10	11	14	11	57
腎尿路生殖器系の疾患	9	12	15	15	15	66
妊娠、分娩及び産じょく<褥>	1	3	1	2	2	9
周産期に発生した病態	4	1	1	2	3	11
先天奇形、変形及び染色体異常	29	27	25	24	31	136
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見 で他に分類されないもの	24	23	24	22	21	114
傷病及び死亡の外因	4	4	4	3	3	18
特殊目的用コード	1	1	1	1	27	31
小計	843	942	950	918	908	4,562

ICD10国際疾病分類第10版2013年度版の大分類から、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」「健康状態に影響を及ぼす要因および保険サービスの利用」を除いて集計。

ただし、対象疾患が不明な場合を除いた。

AMSのデータ（2021年2月17日現在）をもとに集計。ただし、医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）の課題を除いた。

一つの課題に複数の疾患が含まれている場合は研究開発費を按分して集計。

# 5. 用語集

用語	説明
AMS	AMEDが支援した研究開発課題を網羅的に搭載した業務用のデータベース AMED Management System の略称。
ICD10疾病分類	ICDは、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類：International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems」の略称であり、世界保健機関（WHO）作成の疾病分類である。ICD-10はその第10回目の改訂版であり、日本では現在、ICD-10(2013年版)に準拠した「疾病、傷害及び死因の統計分類」を厚生労働省が作成し、統計調査や医療機関における診療録の管理等に活用されている。このICD-10の大分類の疾病分類を、AMSでは支援する研究開発課題の対象疾患分類に採用し分類項目としている。
医療研究開発革新基盤 創成事業（CiCLE）	医薬品、医療機器、再生医療等製品、医療技術などの実現を目的に2017年度に開始された、企業などが参加するAMEDの産学官連携のイノベーション事業。大型の初期投入などに柔軟に対応する研究開発費（原則最長10年、1課題あたり1億円～100億円）を提供することから他の事業とは異なる特徴的な運営がされている。
開発段階	AMEDの研究開発支援の対象のうち、開発段階がわかる課題について、基礎的、応用、非臨床・前臨床、臨床試験、治験、市販後、観察研究等、のいずれかを付与したAMSの分類項目。研究の性格が「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」では開発段階の付与を義務付けており、その他の性格の課題では開発段階は任意で付与されている。
課題	AMEDが直接採択した代表課題のもとで実施される分担や再委託の課題を含めた、AMEDが交付する研究開発費によって実施される研究開発課題あるいはそうした課題の総称。
研究開発費	AMEDが大学や国立研究法人などに交付（配分）する研究開発費。本集計では財源（委託費、補助金など）の違いを区別せず一律に扱っている。
研究代表	AMEDが採択した研究開発課題の代表機関や代表者。
研究の性格	研究の性格を示す内容を分類するため、AMEDが独自に付与したAMSの分類項目。次の8分類がある。 1) 医薬品・医療機器等の開発を目指す研究 <医療機器開発につながるシステム開発を含む> 2) 生命・病態解明等を目指す研究 3) 調査等の解析による実態把握を目指す研究 <フィールドワーク、サーベイランス、モニタリングを含む> 4) 医療技術・標準治療法の確立等につながる研究 <診療の質を高めるためのエビデンス構築 <診療ガイドライン作成等>を含む> 5) 研究基盤及び創薬基盤の整備研究 <創薬技術・ICT基盤・プラットフォーム関係含む> 6) 医療事業制度・介護制度の改良及び技術支援等につながる研究 <国際保健 <制度>の技術支援等につながる研究を含む> 7) 新規診断法・検査法・検査体制の開発、確立、検証 <診断薬・診断機器開発は除く> 8) 予防のためのエビデンス構築を目指す研究 <疫学を含む>

再委託	AMEDが採択した研究代表から研究開発課題を委託されて実施すること。再委託機関には研究代表から研究開発費が配分される。
承認上の分類	「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（通称、薬機法）」第二条で定義された品目のうち、AMEDの研究開発支援の対象である、医薬品、医療機器、再生医療等製品、体外診断用医薬品の4品目について、そのいずれかを付与したAMSの分類項目。研究の性格が「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」では承認上の分類の付与を義務付けており、その他の性格の課題では承認上の分類は任意で付与されている。
代表課題	AMEDが採択した研究開発課題。
中長期計画（第1期）	国立研究開発法人であるAMEDは、中長期目標を達成するための中長期計画を定めることが独立行政法人通則法（平成 11 年法律第 103 号）第 35 条の 5 に規定されており、2015 年度から2019 年度までの 5 年間で第1期中長期計画期間にあたる。本集計ではこの第1期 5 年間に支援した研究開発課題を集計の対象としている。 第1期中長期計画については <a href="https://www.amed.go.jp/content/000061094.pdf">https://www.amed.go.jp/content/000061094.pdf</a>
統合プロジェクト（第1期）	「基礎研究から実用化へ一貫してつなぐ」ために定められたAMED第1期の 9 つの連携プロジェクト。 1) オールジャパンでの医薬品創出プロジェクト 2) オールジャパンでの医療機器開発プロジェクト 3) 革新的医療技術創出拠点プロジェクト 4) 再生医療実現プロジェクト 5) 疾病克服に向けたゲノム医療実現プロジェクト 6) ジャパン・キャンサーリサーチ・プロジェクト 7) 脳とこころの健康大国実現プロジェクト 8) 新興・再興感染症制御プロジェクト 9) 難病克服プロジェクト。 AMSでは、これら 9 つのプロジェクトに含まれない「その他」を加えて10分類されている。 なお、設立当初の第1期中長期計画では「各省連携プロジェクト」として開始されたが、2017年度に呼称変更した経緯がある。 <a href="https://www.amed.go.jp/content/000033777.pdf">https://www.amed.go.jp/content/000033777.pdf</a>
分担	AMEDが採択した研究代表から研究開発課題を分担されて実施すること。分担機関にはAMEDから研究開発費が配分される。



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development

AMEDデータブック：第1期中長期計画期間（2015～2019年度）

編集 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）  
研究開発統括推進室 情報分析課

2021年4月発行